



POWER AMPLIFIER

XMV4280
XMV4140
XMV4280-D
XMV4140-D

Owner's Manual
Bedienungsanleitung
Mode d'emploi
Manual de instrucciones
Manuale di istruzioni
Руководство пользователя
使用说明书
取扱説明書

English

Deutsch

Français

Español

Italiano

Русский

中文

日本語

EN
DE
FR
ES
IT
RU
ZH
JA

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、お客様やほかの方々への危害や財産への損害を未然に防止するためのものです。必ずお守りください。

お読みになったあとは、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

■ 記号表示について

この製品や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。

	「ご注意ください」という注意喚起を示します。
	～しないでくださいという「禁止」を示します。
	「必ず実行」してくださいという強制を示します。

■ 「警告」と「注意」について

以下、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、「警告」と「注意」に区分して掲載しています。



警告

この表示の欄は、「死亡する可能性または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

この製品の内部には、お客様が修理/交換できる部品はありません。点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



警告

電源/電源コード



禁止

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。
電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。



必ず実行

電源はこの機器に表示している電源電圧で使用する。
誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。



必ず実行

電源コードは、必ず付属のものを使用する。また、付属の電源コードをほかの製品に使用しない。
故障、発熱、火災などの原因になります。
ただし、日本国外で使用する場合は、付属の電源コードを使用できないことがあります。お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにお問い合わせください。



必ず実行

電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。



必ず実行

電源プラグは保護接地されている適切なコンセントに接続する。
確実に接地接続しないと、感電の原因になります。

接続



必ず実行

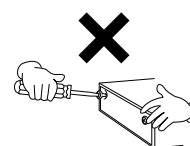
接地接続を確実にこなう。
電源コードには、感電を防ぐためのアース線があります。電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずアース線を接地接続してください。確実に接地接続しないと、感電の原因になります。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとで行なってください。

分解禁止



禁止

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、けが、または故障の原因になります。異常を感じた場合など、点検や修理は、必ずお買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにご依頼ください。



水に注意



禁止

この機器の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。また、浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。

内部に水などの液体が入ると、感電や火災、または故障の原因になります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電のおそれがあります。

火に注意



禁止

この機器の上にもろいものなど火気のあるものを置かない。

もろいものが倒れたりして、火災の原因になります。

異常に気づいたら



必ず実行

下記のような異常が発生した場合、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

- ・電源コード/プラグがいたんだ場合
- ・製品から異常なおい煙が出た場合
- ・製品の内部に異物が入った場合
- ・使用中に音が出なくなった場合

そのまま使用続けると、感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



必ず実行

この機器を落とすなどして破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

⚠ 注意

電源/電源コード



必ず実行

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って引き抜く。

電源コードが破損して、感電や火災の原因になることがあります。



必ず実行

長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電や火災、故障の原因になることがあります。

設置



禁止

不安定な場所に置かない。

この機器が転倒して故障したり、お客様やほかの方々へのけがを及ぼす原因になります。



禁止

この機器の通風孔(放熱用スリット)をふさがない。内部の温度上昇を防ぐため、この機器の前面/後面/側面には通風孔があります。特に、この機器をひっくり返したり、横倒しや前後逆さまにしたりしない。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

風通しの悪い狭いところに押し込めたりしない。

EIA 標準のラック以外にこの機器を入れる場合は、この機器を壁やほかの機器から左右に10cm、後ろに10cm、上に40cm以上離してください。機器内部に熱がこもり、故障や火災の原因になることがあります。



禁止

塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない。

故障の原因になります。



禁止

この機器を子供の手の届くところに置かない。お子様が誤って機器の穴に指を入れて、けがをすることがあります。



必ず実行

この機器を移動するときは、必ず接続ケーブルをすべて外した上で行なう。

ケーブルをいためたり、お客様やほかの方々が転倒したりするおそれがあります。



必ず実行

この機器を電源コンセントの近くに設置する。

電源プラグに容易に手の届く位置に設置し、異常を感じた場合にはすぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



必ず実行

この機器を EIA 標準ラックにマウントする場合は、208 ページの「ラックマウント時の注意」をよく読んでから設置する。

放熱が不十分だと機器内部に熱がこもり、火災や故障、誤動作の原因になることがあります。

接続



必ず実行

ほかの機器と接続する場合は、すべての電源を切った上で行なう。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器の音量(ボリューム)を最小にする。

感電、聴力障害または機器の損傷になることがあります。



必ず実行

スピーカーの接続には、スピーカー接続専用のケーブルを使用する。

それ以外のケーブルを使うと、火災の原因になることがあります。

手入れ



必ず実行

この機器の手入れをするときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。

感電の原因になることがあります。

取り扱い



禁止

この機器の通風孔のすき間に手や指を入れない。
お客様がけがをするおそれがあります。



禁止

この機器の通風孔のすき間から金属や紙片などの異物を入れない。

感電、ショート、火災や故障の原因になることがあります。入った場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた上で、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。



禁止

この機器の上にのったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、入出力端子などに無理な力を加えない。

この機器が破損したり、お客様やほかの方々がけがをしたりする原因になります。



禁止

大きな音量で長時間スピーカーを使用しない。
聴覚障害の原因になります。

バックアップバッテリー



必ず実行

この機器はバックアップバッテリーが内蔵されていますので、電源プラグがコンセントから外されても、内部のデータは保持されます。ただし、バックアップバッテリーが消耗すると内部のデータは消えてしまいます。バックアップバッテリーが消耗してくると、[ALERT]インジケーターが点滅し、ディスプレイに「012.」が表示されます。その場合は、すぐにデータをコンピューターなどの外部機器に保存し、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。

- データが破損したり失われたりした場合の補償はいたしかねますので、ご了承ください。
- 不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。

・ 使用後は、必ず電源スイッチを切りましょう。

注記(ご使用上の注意)

製品の故障、損傷や誤動作、データの損失を防ぐため、以下の内容をお守りください。

■製品の取り扱い/お手入れに関する注意

- ・ テレビやラジオ、ステレオ、携帯電話など他の電気製品の近くで使用しないでください。この機器またはテレビやラジオなどに雑音が生じる原因になります。
- ・ 直射日光のあたる場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなる場所、逆に温度が極端に低い場所、また、ほこりや振動の多いところで使用しないでください。この機器のパネルが変形したり、内部の部品が故障したり、動作が不安定になったりする原因になります。
- ・ この機器上にビニール製品やプラスチック製品、ゴム製品などを置かないでください。この機器のパネルが変色/変質する原因になります。
- ・ 手入れするときは、乾いた柔らかい布をご使用ください。ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどを使用すると、変色/変質する原因になりますので、使用しないでください。
- ・ 機器の周囲温度が極端に変化して(機器の移動時や急激な冷暖房下など)、機器が結露しているおそれがある場合は、電源を入れずに数時間放置し、結露がなくなってから使用してください。結露した状態で使用すると故障の原因になることがあります。
- ・ この機器はスピーカー再生以外の用途には使用しないでください。故障の原因になることがあります。
- ・ スピーカーの故障を防ぐために、電源を入れるときは、最後にこの機器の電源を入れてください。また、電源を切るときは、最初にこの機器の電源を切ってください。

■データの保存に関する注意

この機器は内部メモリ用にバックアップバッテリーを内蔵しており、電源を切った状態でも内部メモリのデータは保持されます。ただし、バックアップバッテリーが消耗すると内部メモリのデータ*が消えてしまいますので、消耗する前にバックアップバッテリーを交換する必要があります。バックアップバッテリーが消耗してくると、機器の起動時または使用中にディスプレイに「012.」が表示されます。その場合は、電源を切らずに、すぐにデータをコンピューターなどの外部機器に保存し、お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターにバックアップバッテリーの交換をご依頼ください。バックアップバッテリーの寿命の目安は約5年(無通電時)ですが、使用環境などにより変動する場合があります。

* バックアップバッテリーによって保持されている内部メモリのデータの種類の種類は以下のとおりです。

- ・ 機器固有のパラメーター (アッテネーター値、HPF設定、アナログ/デジタル入力設定、[SIGNAL]インジケーター表示設定)
- ・ イベントログ

上記以外のデータは、バックアップバッテリーを必要としないメモリに保存されているため、バックアップバッテリーが消耗してもデータが失われることはありません。

お知らせ

■製品に搭載されている機能/データに関するお知らせ

この製品は、JIS C 61000-3-2に適合しています。

■取扱説明書の記載内容に関するお知らせ

- ・ この取扱説明書に掲載されているイラストは、すべて操作説明のためのものです。したがって、実際の仕様と異なる場合があります。
- ・ 本書に記載されている会社名および商品名等は、各社の登録商標または商標です。

目次

はじめに	207
特長	207
付属品	207
関連マニュアルとソフトウェア	207
ファームウェアのアップデート	208
Danteとは	208
ラックマウント時の注意	208
各部の名称と機能	209
フロントパネル	209
リアパネル	212
接続と設定	216
アナログ信号を入力する場合のセットアップ	216
[REMOTE] 端子と [FAULT OUTPUT] 端子	221
操作	223
フロントパネル操作	223
内蔵メモリーの初期化	225
資料	226
困ったときは(トラブルシューティング)	226
アラート一覧	227
Dante 関連メッセージ (XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)	229
ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続	230
BTL (Balanced Transformer Less) 接続	231
アフターサービス	232
保証書	233
Specifications (仕様)	234
General Specifications (一般仕様)	234
Block Diagram (ブロック図)	236
Dimensions (寸法図)	236
Current Draw and Heat Dissipation (消費電流と熱放散)	237

* 仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。取扱説明書の最新版につきましては、ヤマハウェブサイトからダウンロードできます。

はじめに

このたびはヤマハ パワーアンプリファイアー XMV4280/XMV4140/XMV4280-D/XMV4140-Dをお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。XMV4280/XMV4140/XMV4280-D/XMV4140-Dの優れた機能を十分発揮させるとともに、末永くご愛用いただくために、この取扱説明書をご使用の前に必ずお読みください。また、ご一読いただいたあとも、不明な点が生じた場合に備えて、大切に保管いただきますようお願いいたします。

NOTE

- ・本文中の説明でXMV4280/XMV4280-DとXMV4140/XMV4140-Dとで仕様が異なる場合、XMV4140/XMV4140-Dのみの仕様については{}でくくって表記します(例：280W{140W})。
- ・イラストは特にことわりがない場合、XMV4280/XMV4280-Dのものを使用しています。
- ・本書では XMV4280、XMV4140、XMV4280-D、XMV4140-Dをまとめて「XMV」と表記する場合があります。
- ・本書ではマトリックスプロセッサ MTXシリーズの機器をまとめて「MTX」と表記する場合があります。

特長

XMVは、以下の特長を備えたマルチチャンネルパワーアンプリファイアーです。

- ・**ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続の両方に対応**
70V/100Vラインのハイインピーダンス接続と、4Ω/8Ωのローインピーダンス接続のどちらにも対応しました。リアパネルのディップスイッチで2チャンネルごとにこれらの設定を切り替えられます。

- ・**新開発の「ダブルパワーモード」を搭載**
新開発の「ダブルパワーモード」は、ローインピーダンス接続のときにチャンネルあたりのアンプ出力を倍にするモードです。

* 使用できるチャンネル数は半分にになります。

- ・**アプリケーションソフトウェアでの設定も可能**
本体でもミュートのオン/オフやアッテネーター値の変更などの各種設定ができますが、MTXとコンピューターを使って複数台のXMVを設定できます。

- ・**新開発のデジタル音声伝送フォーマット「YDIF」を搭載 (XMV4280/XMV4140のみ)**
イーサネットケーブルを使って、最大16チャンネルの音声とワードクロックを送受信できます。
このモデルではYDIFから4チャンネル分の音声信号を受信できます。

- ・**Danteネットワークにより大規模システムに対応 (XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)**
イーサネットケーブルを使用した長距離伝送が可能で、MTX5-DなどのDante対応機器と遠隔地間の音声信号のやりとりを行なうことができます。

- ・**高効率化を実現**
新開発の出力回路を採用することで高効率化を実現しました。

- ・**アナログ/デジタル入力のリダンダント機能に対応**
デジタル入力のパイロットトーンが切れた場合やアナログ入力が指定以上のレベルに達した場合にデジタル入力からアナログ入力に切り替えられます。

* Amp Editorで設定可能

付属品(お確かめください)

- ・取扱説明書(保証書が本書233ページに記載されています)
- ・電源コード
- ・ユーロブロックプラグ(3ピン、3.50mmピッチ)×2
- ・ユーロブロックプラグ
(3ピン、タブ付き、5.08mmピッチ)×4
- ・結束バンド×4

関連マニュアルとソフトウェア

MTX、MRXとXMVを組み合わせたシステムを構築する場合は、MTX-MRX Editorをお使いください。XMVのみで構築されるシステムの場合は、Amp Editorをお使いください。各取扱説明書、MTX-MRX EditorやAmp Editor (以降、まとめてエディター)は、以下のウェブサイトのダウンロードページからダウンロードしてください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

・関連マニュアル一覧

MTXやMRXの 取扱説明書	プロセッサ (MTX、MRX) の使い方について説明しています。
MTX-MRX Editor ユーザーガイド	MTX-MRX Editor の使い方について説明しています。
MTXセットアップ マニュアル MRXセットアップ マニュアル	MTXとXMVを組み合わせて使うときの手順や設定を説明しています。また、MTX-MRX Editorのインストール、基本設定、アンインストール手順を説明しています。
Amp Editor 取扱説明書	Amp Editor の使い方について説明しています。

「MTX-MRX Editor ユーザーガイド」、「MTXセットアップマニュアル」、「MRXセットアップマニュアル」、「Amp Editor取扱説明書」は、PDF形式の電子ファイルになっています。このファイルは、コンピューターでご覧いただけます。コンピューターでご覧いただくソフトウェアとして「Adobe® Reader®」を使うと、用語をすばやく検索したり、必要な部分だけを印刷したり、リンクをクリックして該当する項目を開いたりすることができます。特に用語検索とリンク機能は、電子ファイルならではの便利な機能です。ぜひご活用ください。

最新のAdobe Readerは下記のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://www.adobe.com/jp/>

ファームウェアのアップデート

XMVのファームウェアのアップデートやバージョンの確認は、MTX-MRX EditorやAmp Editorで行ないます。操作方法については、各エディターの取扱説明書を参照してください。

最新のファームウェアは、以下のウェブサイトのダウンロードページからダウンロードしてください。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

Danteとは

XMV4280-D/XMV4140-Dは、オーディオ信号を伝送するプロトコルとしてDanteを採用しています。Danteとは、Audinate社が開発したプロトコルで、ギガビットイーサネット対応のネットワーク環境で、サンプリング周波数/ビットレートが違う複数のオーディオ信号や、機器のコントロール信号を同時に扱える特長を持っています。そのほか、下記のようなメリットがあります。

- ・理論上はギガビットイーサネット環境で最大512イン/512アウトで合計1024チャンネルの音声を伝送可能。(XMV4280-D/XMV4140-Dでは、24/32ビットの解像度で4インを実現)
- ・ネットワーク内の機器を自動的に検出・設定。機器名も自由に設定可能。
- ・高精度のネットワークシンクロ技術の採用により、低レイテンシー、低ジッター、高サンプル精度を実現。(XMV4280-D/XMV4140-Dでは、レイテンシーは0.25msec/0.5msec/1.0msec/5.0msecの4タイプから選択可能)
- ・プライマリー回線とセカンダリー回線による、万が一の障害に強いリダンダント接続に対応。
- ・イーサネットでコンピューターと接続し、オーディオインターフェース機器なしで音声の直接入出力が可能。

Danteの詳細については、Audinate社のウェブサイト参照してください。

<http://www.audinate.com/>

また、ヤマハプロオーディオのウェブサイトにも、Danteに関するさまざまな情報を掲載しています。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

NOTE

Danteネットワーク内では、ネットワークスイッチのEEE機能(*)を使用しないでください。

EEE機能に対応したスイッチ間では、消費電力の相互設定が自動で調整されますが、相互設定の調整が正しく機能しないスイッチもあります。

これにより、Danteネットワーク内の不適切な場面でスイッチのEEE機能が有効になってしまう可能性があり、クロック同期性能が悪化して音声途切れる場合があります。

そのため、以下の点にご注意ください。

- ・マネージドスイッチを使う場合、Danteを使用するすべてのポートのEEE機能をオフにしてください。EEE機能がオフにできないスイッチは使用しないでください。
- ・アンマネージドスイッチを使う場合、EEE機能に対応したスイッチを使用しないでください。これらのスイッチはEEE機能をオフにできません。

* EEE (Energy Efficient Ethernet) 機能とは、ネットワークのトラフィックが少ないときにイーサネット機器の消費電力を減らす技術。グリーンイーサネットやIEEE802.3azとも呼ばれています。

ラックマウント時の注意

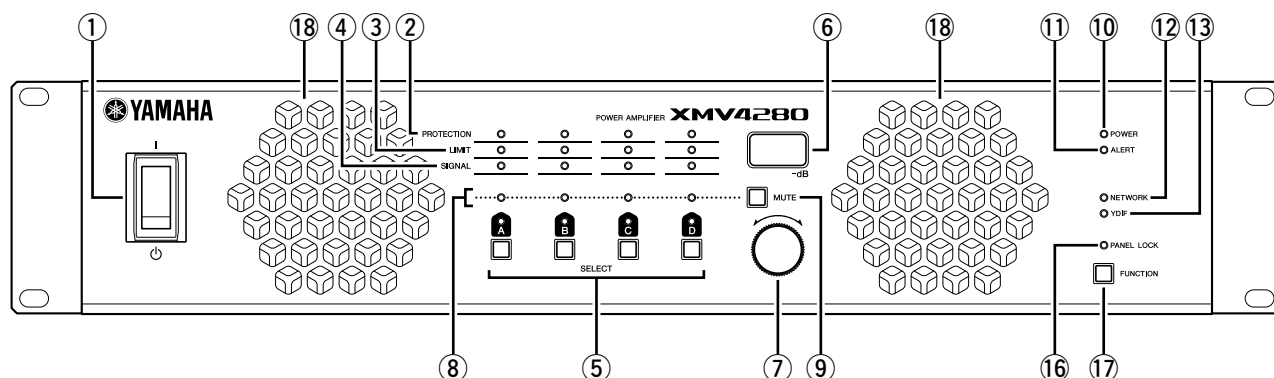
この機器が動作保証する室温は0～40℃です。この機器だけをEIA標準のラックにマウントする場合は、複数台を隙間なくマウントしてご使用いただけます。この機器を他の機器と一緒にEIA標準のラックにマウントする場合、各機器からの熱でラック内の温度が上昇し、十分な性能を発揮できないことがあります。この機器に熱がこもらないように、必ず以下の条件でラックにマウントしてください。

- ・他社製パワーアンプなどの発熱しやすい機器と一緒にマウントする場合は、他の機器との間を1U以上空けてください。また、このスペースは通風パネルを取り付けたり、開放したりして、十分な通気を確保してください。
- ・ラックの背面を開放して、ラックを壁や天井から10cm以上離し、十分な通気を確保してください。ラック背面を開放できない場合は、ラックに市販のファンキットなどの強制換気装置を取り付けてください。ファンキットを取り付けた場合は、ラックの背面を閉じた方が放熱効果が大きくなることもあります。詳しくはラックおよびファンキットの取扱説明書を参照してください。

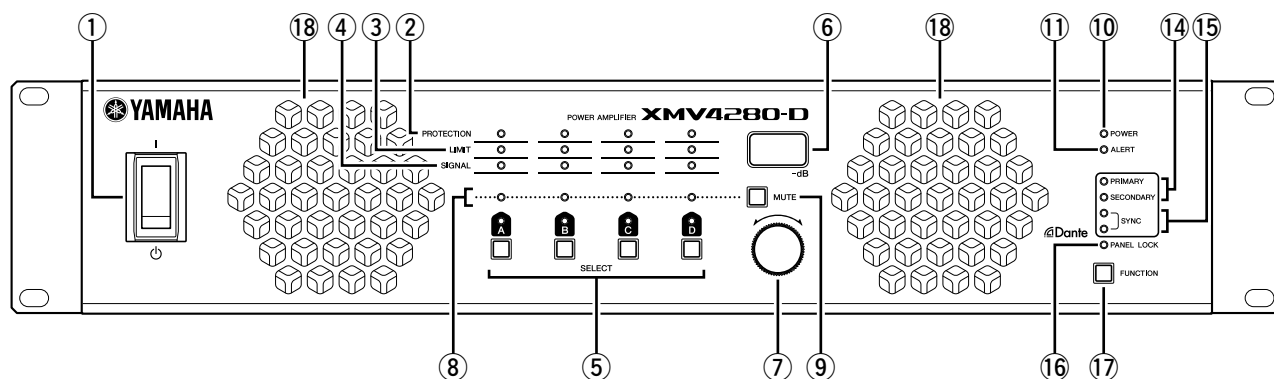
各部の名称と機能

フロントパネル

XMV4280/XMV4140



XMV4280-D/XMV4140-D



① 電源スイッチ

この機器の電源をオン/オフします。上に倒すと電源がオンになり、[POWER]インジケータ ⑩が緑色に点灯します。下に倒すと電源がオフになります。上に倒れているときに[POWER]インジケータが点滅しているときは、スタンバイになっています。

⚠ 注意

- スピーカーから大きなノイズが出ないよう、音源、ミキサーやプロセッサ (MTXなど)、アンプの順に電源を入れてください。電源を切るときは、逆の順序で切ってください。
- 電源スイッチのオン/オフを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。電源スイッチをオフにしてから再度オンにする場合は、5秒以上の間隔を空けてください。
- パラメーターを変更した場合、変更してから1秒間は電源スイッチをオフにしないでください。1秒以内にオフにするとパラメーターが保存されない場合があります。
- 電源スイッチを切った状態でも微電流が流れています。この製品を長時間使用しないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

② [PROTECTION] A/B/C/D インジケータ

保護回路が作動しているときに、橙色に点灯します。出力音声ミュートした場合、電源をオフにして、XMVが冷えてから再度オンにしてください。以下の場合に保護回路が作動し、[PROTECTION]インジケータが点灯します。

- アンプが過熱して出力リミッターが動作したとき
アンプ部のヒートシンクが80℃以上になるとスピーカー出力が減衰され、90℃以上になるとミュートされます。[PROTECTION]インジケータは、80℃以上で点灯します。
- 電源が過熱してシャットダウンしたとき
電源部が90℃以上になるとファンが高速回転し、100℃以上でアナログ回路がシャットダウンします。[PROTECTION]インジケータは、100℃以上のとき点灯します。
- 過電流を検出したとき
何らかの原因でインピーダンスが定格以下になったとき、過電流が流れることを防ぐために、スピーカー出力がミュートされ、約1秒後にミュートが解除されます。解除したあとも過電流を検出した場合は再度ミュートされます。

- DC出力を検出したとき
電源部がシャットダウンされます。
- 過大な積算電流や最大電流を検出したとき
出力信号が減衰されます。

③ [LIMIT] A/B/C/D インジケーター

リミッターが作動しているときに、スピーカー出力が減衰され、赤色に点灯します。リミッターが作動しないように、「アッテネーター値の変更(220ページ)」を参照してアッテネーター値を下げてください。以下の場合にリミッターが作動します。

- ・瞬時に過大入力を検出したとき
- ・一定時間の間、過大入力になったと判断したとき
- ・アンプ部のヒートシンクが規定温度以上になったとき

④ [SIGNAL] A/B/C/D インジケーター

表示設定した端子の信号レベルが一定以上になると緑色に点灯します。

端子	表示設定 (*1)	点灯条件
アナログ入力端子 ⑭	入力	-40dBFS 以上
[YDIF] 端子 ⑳ (XMV4280/XMV4140)		
Dante [PRIMARY] 端子 ㉑ Dante [SECONDARY] 端子 ㉒ (XMV4280-D/XMV4140-D)		
[SPEAKERS] 出力端子 ㉓	出力	*2

*1 設定方法は、「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

*2 条件によって異なります。「[SIGNAL] Indicator Lit Level」(235ページ)を参照してください。

⑤ [SELECT] A/B/C/D ボタン/インジケーター

ボタンで操作する出力チャンネルを選択します。選択されたチャンネルのインジケーターが緑色に点灯します。[FUNCTION] ボタン ⑰と組み合わせて使うと、エンコーダーで操作できるパラメーターを変更できます。「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。[PANEL LOCK] インジケーター ⑯が点灯しているときは、フロントパネル操作がロックされているので、出力チャンネルの操作ができません。操作する場合はロックを解除してください。

⑥ ディスプレイ

3桁、7セグメントのディスプレイです。[SELECT] ボタン ⑤で選択したチャンネルのアッテネーター値やアラート番号(227ページ)などを表示します。

⑦ エンコーダー

パラメーターを調整するためのエンコーダーです。操作できるパラメーターなどは「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

[PANEL LOCK] インジケーター ⑯が橙色に点灯しているときは、フロントパネル操作がロックされているので、設定の調整ができません。操作する場合はロックを解除してください。

⑧ [MUTE] A/B/C/D インジケーター

本体操作、[REMOTE] 端子 ㉔からの操作またはエディターからの操作で各出力チャンネルのミュートをオンにすると、それぞれのチャンネルのインジケーターが黄色に点灯します。

⑨ [MUTE] ボタン

[MUTE] ボタンを押しながら[SELECT] ボタン ⑤を押すことで[SELECT] ボタンで選択したチャンネルのミュートのオン/オフを切り替えます。ミュートがオンになると、[MUTE] インジケーター ⑧が黄色に点灯します。[PANEL LOCK] インジケーター ⑯が点灯しているときは、フロントパネル操作がロックされているので、チャンネルのミュート操作ができません。操作する場合はロックを解除してください。

⑩ [POWER] インジケーター

電源スイッチ ①で電源をオンにすると緑色に点灯します。
[REMOTE] 端子やエディターを使ってスタンバイにする
と点滅します。

⑪ [ALERT] インジケーター

機器に異常が発生したときに、赤色に点滅または点灯します。
点滅しているときはディスプレイの表示を確認して、「アラート一覧」(227ページ)を参照してください。
点灯しているときは本体操作を止めてください。しばらくすると点滅になり、ディスプレイにアラート番号が表示されます。

⑫ [NETWORK] インジケーター
(XMV4280/XMV4140のみ)

ネットワーク端子 ⑲経由で外部機器とリンク状態になっているとき緑色に点灯します。また、データの通信中は点滅します。

⑬ [YDIF] インジケーター
(XMV4280/XMV4140のみ)

[YDIF] 端子 ㉔が正常に接続されている状態で、有効なワードクロックが入力されたとき緑色に点灯します。

⑭ [PRIMARY]/[SECONDARY] インジケーター
(XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)

Dante [PRIMARY]/[SECONDARY] 端子 ㉑の通信状態をそれぞれ表示します。
イーサネットケーブルが正しく接続されている場合には緑色に速く点滅します。

⑮ [SYNC] インジケーター
(XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)

Danteネットワークの動作状態を表示します。
緑色(上側)のインジケーターが点灯している場合は、機器がクロックスレーブでありクロックが同期していることを示します。点滅している場合は、機器がクロックマスターであることを示します。
電源をオンにしても緑色のインジケーターが消灯している場合は異常が発生しています。その場合は「警告メッセージ」(229ページ)を参照してください。
橙色のインジケーターの点灯/点滅についても、「警告メッセージ」を参照してください。

⑯ [PANEL LOCK] インジケーター

フロントパネルロックの状態により、橙色に点灯/点滅します。
機器設定ディップスイッチ⑳のスイッチ5で、ロックを設定します。

インジケーター	状態
点灯	フロントパネルの操作がロックされています。[FUNCTION] ボタン⑰と[SELECT] A ボタン⑤を押すと、一時解除されます。
消灯	フロントパネルの操作がロックされていません。
点滅	ロックが一時解除されています。再起動するとロックされます。

⑰ [FUNCTION] ボタン

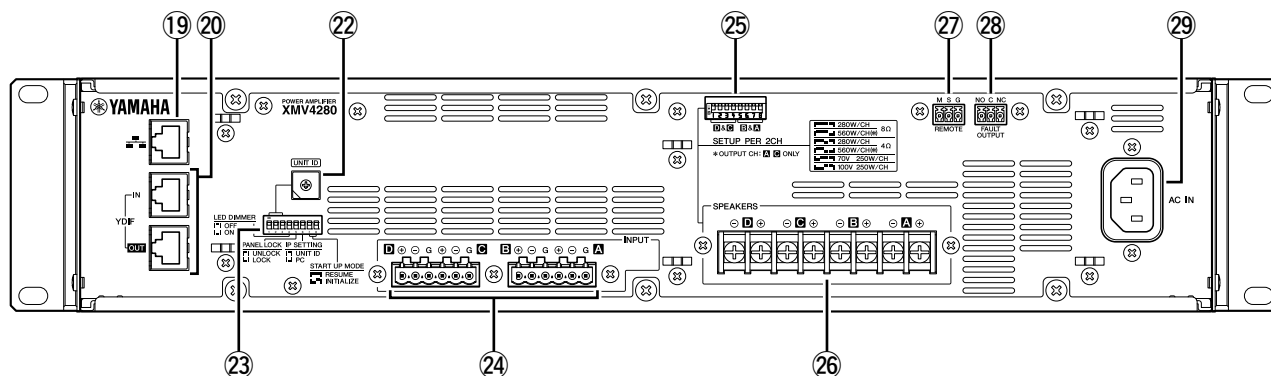
フロントパネルの操作モードの確認や変更をするときになどに使用します。フロントパネルの操作方法は「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

⑱ 吸気口

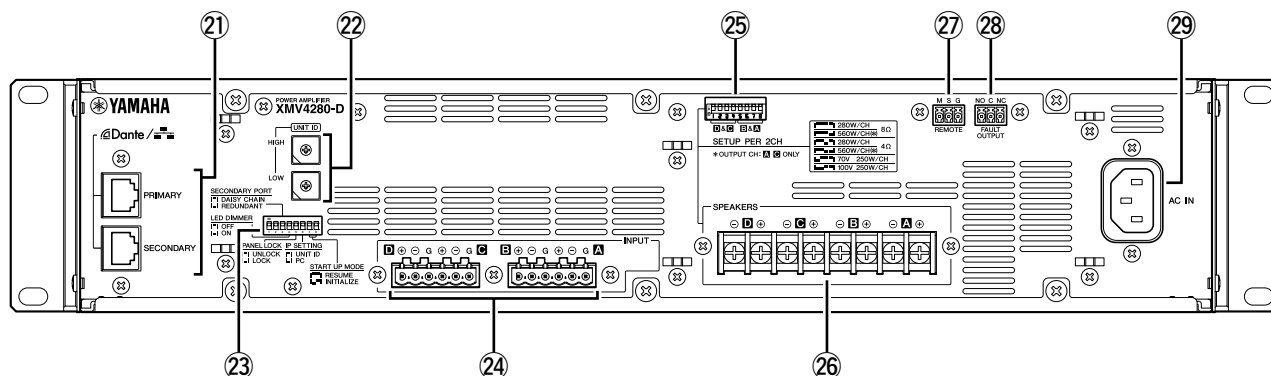
吸気口の後ろには前面吸気、後面排気方式の冷却用変速ファンが装備されています。温度に合わせて自動的に回転数が変化します。
ここから吸気されますので、障害物などで吸気口をふさがないようにご注意ください。また、定期的に清掃してください。吸気口にほこりがつまると、機器の温度が上昇し、機器がシャットダウンすることがあります。

リアパネル

XMV4280/XMV4140



XMV4280-D/XMV4140-D



①⑨ ネットワーク端子 (XMV4280/XMV4140のみ)

イーサネットケーブルを使用して、コンピュータと接続するための100BASE-TXのイーサネット端子です。

NOTE

- ・ ネットワーク端子に接続するケーブルは、電磁干渉防止のために、CAT5e以上のSTPケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。
- ・ MTX-MRX EditorでXMVをコントロールする場合は、MTXを必ず接続してください。

②⑩ [YDIF]端子 (XMV4280/XMV4140のみ)

イーサネットケーブルを使用して、他のYDIF搭載機器と接続し、音声信号とワードクロック信号を送受信するRJ-45端子です。[YDIF]端子を持つ他の機器とリング接続(YDIF接続)します。[YDIF]端子から音声信号を受信するときの設定は「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

接続するケーブルは機器間で30m以下にしてください。[YDIF]端子を使った接続については「MTXセットアップマニュアル」を参照してください。1つのネットワークにYDIF接続できる機器は、最大で8台です。接続方法は、「MTXセットアップマニュアル」を参照してください。

NOTE

[YDIF]端子に接続するケーブルは、電磁干渉防止のために、CAT5e以上のすべてがストレート結線されたSTPケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。

②① Dante [PRIMARY]/[SECONDARY] 端子 (XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)

イーサネットケーブルを使用して、MTX5-Dなどの Dante 機器と接続する端子です (RJ45、1000BASE-T)。
Dante [PRIMARY] 端子は、イーサネットケーブルを使用して、コンピューターと接続するための端子も兼ねています。
接続方法は「MTX-MRX Editor ユーザーガイド」を参照してください。

NOTE

- ・ Dante [PRIMARY]/[SECONDARY] 端子に接続するケーブルは、電磁干渉防止のために、CAT5e以上の STPケーブル(シールド付きツイストペアケーブル)をお使いください。STPケーブルは、コネクタの金属部分とケーブルのシールド部分を導電テープなどで確実に接触させてください。
- ・ 接続する機器は Dante 機器またはギガビットイーサネット対応機器(コンピューターを含む)だけにしてください。
- ・ XMV4280-D/XMV4140-D などヤマハの Dante 対応機器は、ネットワークスイッチを内蔵しているためホップ数は2以上になります。そのため、Dante Controllerでの Latency 設定は、0.15msec はグレースアウトされ選択できません。

②② [UNIT ID] ロータリースイッチ

XMV や MTX などの複数の機器を同一のネットワーク内で接続している場合、機器を個別に認識するための UNIT ID を設定します。

XMV4280/XMV4140

機器設定ディップスイッチ ②③ 1～3 を上位桁、ロータリースイッチを下位桁として組み合わせて、01 から 7F まで最大 127 通りの UNIT ID を設定できます。

XMV4280-D/XMV4140-D

ロータリースイッチ (HIGH) を上位桁、ロータリースイッチ (LOW) を下位桁として組み合わせて、01 から FE まで最大 254 通りの UNIT ID を設定できます。

NOTE

- ・ UNIT ID に「00」と「FF」は使用しないでください。
- ・ [UNIT ID] ロータリースイッチの設定後は電源を入れ直してください。

②③ 機器設定ディップスイッチ

機器の設定をするためのディップスイッチです。詳細な設定については以降を参照してください。

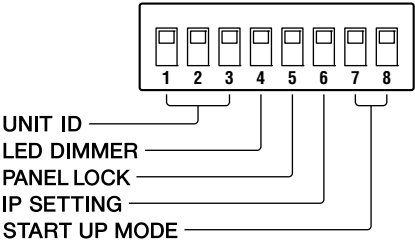
NOTE

設定は、電源をオフにしてから変更してください。電源がオンの時に設定を変更しても、一度電源をオフにしないと設定の変更が反映されません。

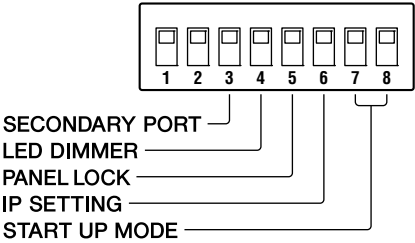
スイッチのイラストは以下のように倒れている状態を示します。

スイッチ	状態
	スイッチが上に倒れている状態を示します。
	スイッチが下に倒れている状態を示します。

XMV4280/XMV4140



XMV4280-D/XMV4140-D



NOTE

XMV4280-D/XMV4140-D では、スイッチ 1 と 2 を使用しません。工場出荷時の設定 (上側) で、ご使用ください。

● スイッチ 1～3 (UNIT ID) (XMV4280/XMV4140のみ)

スイッチ 1～3 を上位桁、[UNIT ID] ロータリースイッチ ② を下位桁として組み合わせて、01 から 7F(127) まで最大 127 通りの UNIT ID を設定できます。

ディップスイッチ	設定	内容
  	UNIT ID の上位桁が 0	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 01 から 0F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 1	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 10 から 1F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 2	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 20 から 2F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 3	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 30 から 3F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 4	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 40 から 4F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 5	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 50 から 5F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 6	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 60 から 6F になります。
  	UNIT ID の上位桁が 7	[UNIT ID] ロータリースイッチの設定範囲が 70 から 7F になります。

● スイッチ 3 (SECONDARY PORT) (XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)

リアパネルにある Dante [SECONDARY] 端子 ⑪ をデジチェーン用に使うか、リダンダント用に使うかを設定します。接続の詳細は「MTX-MRX Editor ユーザーガイド」を参照してください。

ディップスイッチ	設定	内容
	DAISY CHAIN	Dante [SECONDARY] 端子をデジチェーン用にします。Dante [PRIMARY] 端子からの信号をそのまま次の機器に送信します。
	REDUNDANT	Dante [SECONDARY] 端子をリダンダント用にします。Dante [PRIMARY] 端子で接続されているのとは別ネットワークで、バックアップ用に機能します。

● スイッチ 4 (LED DIMMER)

フロントパネルのインジケータやディスプレイの輝度を設定します。

ディップスイッチ	設定	内容
	OFF	輝度を通常にします。
	ON	輝度を落とします。インジケータやディスプレイが明るすぎるときに設定してください。

NOTE

[POWER] インジケータ ⑩ の輝度は落ちません。

● スイッチ 5 (PANEL LOCK)

[MUTE] ボタン ⑨ やアッテネーションの操作を含むパネル操作全体のロック(フロントパネルロック)を設定します。すべての設定を終了したあとにフロントパネルロックを LOCK(ロック)にすると、音量やミュートの設定が不用意に変更されることを防げます。LOCK(ロック)になっていても、[FUNCTION] ボタン ⑪ と [SELECT] A ボタン ⑤ を同時に押すことで、一時的にロックを解除できます。一定時間操作しない、または電源を切ることにより再びロックされます。

ディップスイッチ	設定	内容
	UNLOCK	フロントパネルの操作をロックしません。
	LOCK	電源操作以外のフロントパネルの操作をロックします。

● スイッチ 6 (IP SETTING)

コンピューターと通信するとき使用する IP アドレスを UNIT ID の値を使うか、エディターや DHCP サーバーで設定するかを選択します。

ディップスイッチ	設定	内容
	UNIT ID	IP アドレスを UNIT ID の値を使って設定します。IP アドレスは 192.168.0.xxx (xxx は UNIT ID の値) になります。ただし UNIT ID が「FF」の場合は、xxx は 127 になります。
	PC	IP アドレスをエディターや DHCP サーバーで設定します。

NOTE

ご購入後、初めてコンピューターと接続するときは「UNIT ID」に設定してください。エディターから IP アドレスを設定したあとで、「PC」に切り替えてください。

● スイッチ 7 と 8 (START UP MODE)

起動モードを設定します。

ディップスイッチ	設定	内容
 	RESUME	通常起動をします。
 	INITIALIZE	内蔵メモリーの初期化をします。初期化されるメモリーについては「内蔵メモリーの初期化」(225 ページ)を参照してください。

②④ アナログ入力端子

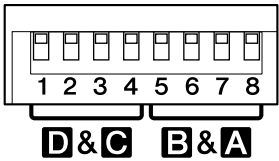
ユーロブロック3ピンのアナログ音声入力用の端子です。アナログ入力端子から音声信号を受信するときの設定は「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

ユーロブロックの取り付け方については「接続と設定」の「アナログ入力端子(ユーロブロック)に接続する」(216ページ)を参照してください。

②⑤ [SPEAKERS]ディップスイッチ

XMVに搭載されているアンプを2チャンネル単位で設定するためのディップスイッチです。

スイッチ1から4はCおよびDチャンネル、スイッチ5から8はAおよびBチャンネルの出力の設定に対応しています。



以下の項目をこのスイッチで設定します。各設定における出力端子に出力される信号は以下のとおりです。

内容	アンプ出力 形式	スイッチ 1~4 (C、Dチャンネル) スイッチ 5~8 (A、Bチャンネル)	各端子の出力			
			A、C チャンネル		B、D チャンネル	
			+	-	+	-
ローインピーダンス接続						
280W{140W}、 8Ω	アンバランス 出力		Nrm	G	G	Inv
560W{280W}*、 8Ω	バランス出力 (BTL)		Nrm	Inv	N/A	N/A
280W{140W}、 4Ω	アンバランス 出力		Nrm	G	G	Inv
560W{280W}*、 4Ω	アンバランス 出力		Nrm	G	N/A	N/A
ハイインピーダンス接続						
70V、 250W{125W}	バランス出力 (BTL)		Nrm	Inv	Nrm	Inv
100V、 250W{125W}	バランス出力 (BTL)		Nrm	Inv	Nrm	Inv

「各端子の出力」では、G：グラウンド、Nrm：ノーマル出力、Inv：インバーテッド(反転)出力、N/A：使用不可(接続禁止)を示します。

* この設定にするとダブルパワーモードになり、BおよびDチャンネルの入出力が無効になります。

NOTE

- 設定は、電源をオフにしてから変更してください。電源がオンの時に設定を変更しても、一度電源をオフにしないと設定の変更が反映されません。
- 異なるチャンネルのマイナス端子同士を接続しないでください。誤動作の原因になります。
- BTL接続については、「BTL(Balanced Transformer Less)接続」(231ページ)を参照してください。

● ローインピーダンス接続/ハイインピーダンス接続 (スイッチ1と5)

ローインピーダンス接続かハイインピーダンス接続かで設定を変えます。接続されるスピーカーやスピーカーのつなぎ方に合わせてください。接続の詳細については、「ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続」(230ページ)を参照してください。

● インピーダンス (スイッチ3と7)

ローインピーダンス接続のときに接続するスピーカーのインピーダンスに合わせて設定を変えます。スピーカーの仕様を確認してください。

たとえば8Ωのスピーカーを2台、パラレル接続でつなげるとインピーダンスの合計は4Ωになります。

● ダブルパワーモード (スイッチ4と8)

ローインピーダンス接続のときのアンプからの出力を設定します。280W{140W}にすると両チャンネルの入出力が有効になります。560W{280W}にするとアンプからの出力が倍になりますが、BおよびDチャンネルの入出力が無効になります。

● 70V/100V (スイッチ2と6)

ハイインピーダンス接続のときのアンプからの最大出力電圧(Vrms)を設定します。

②⑥ [SPEAKERS]出力端子

バリアストリップタイプのスピーカー出力端子です。バリアストリップへの取り付け方については「接続と設定」の「スピーカーケーブルを接続する」(218ページ)を参照してください。

NOTE

異なるチャンネルのマイナス端子同士を接続しないでください。誤動作の原因になります。

②⑦ [REMOTE] 端子

全チャンネルのミュートのオン/オフ、電源のスタンバイ/オンを外部から操作するためのユーロブロック3ピン端子です。詳細については「[REMOTE]端子と[FAULT OUTPUT]端子」(221ページ)を参照してください。

②⑧ [FAULT OUTPUT] 端子

機器に致命的な異常が発生したときに、外部機器をコントロールするためのユーロブロック3ピン端子です。アンプが正常に動作しているときはNCとCが短絡し、異常が発生したときはNOとCが短絡します(221ページ)。異常が発生したときは、[PROTECTION]インジケータ②が橙色に点灯します。

②⑨ [AC IN] 端子

付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

電源コードを接続したり、取り外す前に必ず電源をオフにしてください。

接続と設定

アナログ信号を入力する場合のセットアップ

ここではアナログ信号を入力する場合のセットアップ方法を説明します。

MTXと組み合わせて使用する場合は、「MTXセットアップマニュアル」を参照してください。MTXと組み合わせて使用する場合でも、以下の項目については本書でご確認ください。

- ・スピーカーへの出力に関する設定をする
- ・スピーカー出力端子に接続する
- ・ハイパスフィルター (HPF) の設定をする
- ・インジケーターやディスプレイの輝度を落とす
- ・パネルをロックする

以下の手順に沿って入出力を設定/確認します。

内容	説明 ページ
ラックにマウントする	216
機器設定ディップスイッチの確認をする	216
アナログ入力端子(ユーロブロック)に接続する	216
スピーカー出力に関する設定をする	217
スピーカーケーブルを接続する	218
電源ケーブルを接続する	219
電源をオンにする	219
アナログ入力を有効にする	219
ハイパスフィルター (HPF) の設定をする	219
結線の確認をする	220
インジケーターやディスプレイの輝度を落とす	220
フロントパネルをロックする	220

⚠ 注意

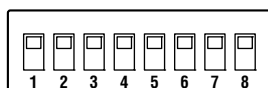
「電源をオンにする」手順より前では必ず電源をオフにした状態で作業してください。電源をオンにした状態で作業すると、設定が反映されなかったり、端子に接続する際に感電するおそれがあります。

■ ラックにマウントする

「ラックマウント時の注意」(208ページ)を参照しながら、XMVをラックにマウントします。

■ 機器設定ディップスイッチの確認をする

リアパネルにある機器設定ディップスイッチ(213ページ)の全スイッチが上になっていることを確認してください。



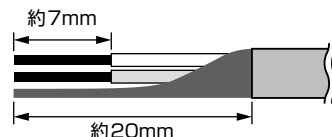
■ アナログ入力端子(ユーロブロック)に接続する

ミキサーなどのアナログ出力をアナログ入力端子(215ページ)に接続します。

必ず付属のタブ付きユーロブロックプラグを使って接続してください。

紛失した場合は、ヤマハ修理ご相談センター(232ページ)にお問い合わせください。

事前準備(ケーブルの処理)

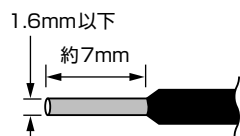


- ・ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルには、より線を使用し、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。ケーブルは、付属の結束バンドでユーロブロックプラグのタブに固定してください(217ページ)。ラックマウント時は、なるべく束線バーなどを使用してケーブルを結束して固定してください。

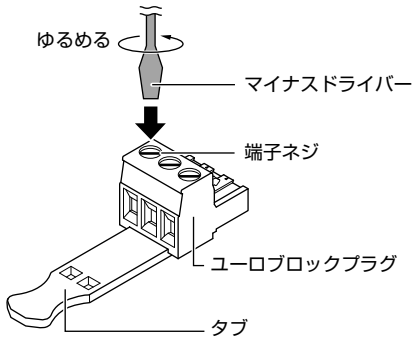
NOTE

より線には、はんだめっきしないでください。

- ・可搬設備などで頻繁に抜き差しする場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.6mm以下で、長さ約7mmのもの(Phoenix Contact社製AI0.5-6WHなど)をご使用ください。

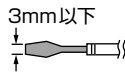


1. 端子ネジをゆるめます。

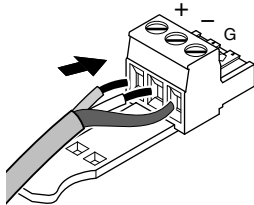


NOTE

マイナスドライバーはブレード幅が3mm以下のものを使用してください。



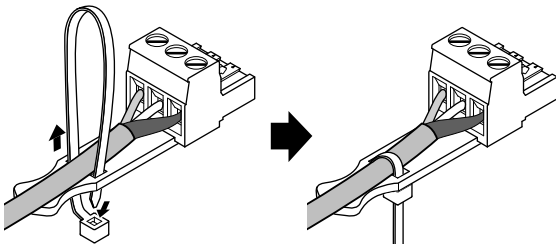
2. ケーブルを差し込みます。



3. 端子ネジをしっかりと締め付けます。

ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

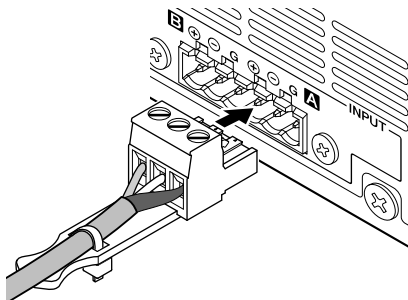
4. 付属の結束バンドを使ってケーブルをタブに固定します。



NOTE

結束バンドの不要な部分は必要に応じて切除してください。

5. ユーロブロックプラグを本体のアナログ入力端子に装着します。



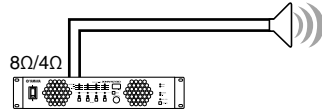
■ スピーカー出力に関する設定をする

リアパネルの[SPEAKERS]ディップスイッチ (215ページ)を使って、スピーカー出力に関して設定します。ローインピーダンスとハイインピーダンスではスピーカーの接続方法が異なります。

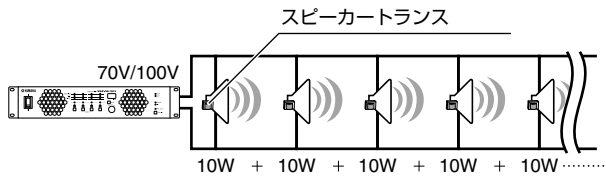
NOTE

ディップスイッチの設定は、電源をオフにしてから変更してください。電源がオンの時に設定を変更しても、一度電源をオフにしないと設定の変更が反映されません。

ローインピーダンス接続



ハイインピーダンス接続



詳細については「ハイインピーダンス接続とローインピーダンス接続」(230ページ)を参照してください。

設定については以下の項目に分けて説明します。

- ローインピーダンス接続で使用する場合 (217ページ)
- ローインピーダンス接続でダブルパワーモードを使用する場合 (218ページ)
- ハイインピーダンス接続の場合 (218ページ)

設定はAとB、CとDのそれぞれのチャンネルのできるで、上記の項目を併用することができます。

● ローインピーダンス接続で使用する場合

接続するスピーカーのインピーダンス(4Ωまたは8Ω)に合わせて、[SPEAKERS]ディップスイッチを以下のように設定してください。

設定	スイッチ1～4 (C、Dチャンネル) スイッチ5～8 (A、Bチャンネル)
280W{140W}、8Ω	☐ ☐ ☐ ☐
280W{140W}、4Ω	☐ ☐ ☐ ☐

NOTE

ローインピーダンス接続の設定にすると、自動的にHPFがOFFに設定されます。

XMVは8Ω以上のインピーダンスのスピーカーを接続するときにも出力を保証するために、8Ωと4Ωの切り替えスイッチを持っています。

8Ω以上のインピーダンスのスピーカーを接続する場合は、8Ωに設定してください。8Ω未満4Ω以上のインピーダンスのスピーカーを接続する場合は、4Ωに設定してください。

合成インピーダンス(x)	設定
$4\Omega \leq x < 8\Omega$	4Ω
$8\Omega \leq x$	8Ω

● ローインピーダンス接続でダブルパワーモードを使用する場合

ダブルパワーモードにすると、BおよびDチャンネルの入出力は無効となります。

接続するスピーカーのインピーダンス(4Ωまたは8Ω)に合わせて、[SPEAKERS]ディップスイッチを以下のように設定してください。

設定	スイッチ1~4 (Cチャンネル) スイッチ5~8 (Aチャンネル)
560W{280W}、8Ω	
560W{280W}、4Ω	

NOTE

ローインピーダンス接続の設定にすると、自動的にHPFがOFFに設定されます。

● ハイインピーダンス接続の場合

導入する設備の仕様(70Vまたは100V)に合わせて、[SPEAKERS]ディップスイッチを以下のように設定してください。

設定	スイッチ1~4 (C、Dチャンネル) スイッチ5~8 (A、Bチャンネル)
70V	
100V	

NOTE

電源起動時にハイインピーダンス接続の設定になっていると、80HzのHPFが設定されます。ローインピーダンス接続の設定になっているときはHPFは設定されません。

■ スピーカーケーブルを接続する

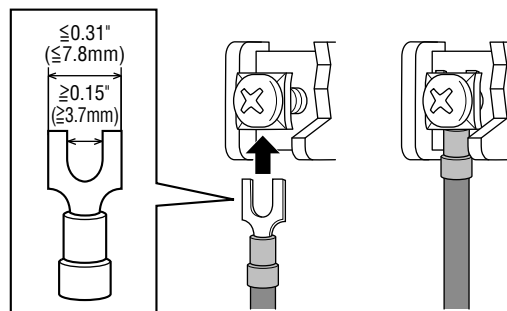
リアパネルの[SPEAKERS]出力端子(215ページ)はバリアストリップタイプです。Y型プラグを使った接続と、芯線が剥き出しの場合の接続を説明します。

⚠ 注意

必ず電源がオフになっていることを確認してください。オンになっていると感電するおそれがあります。

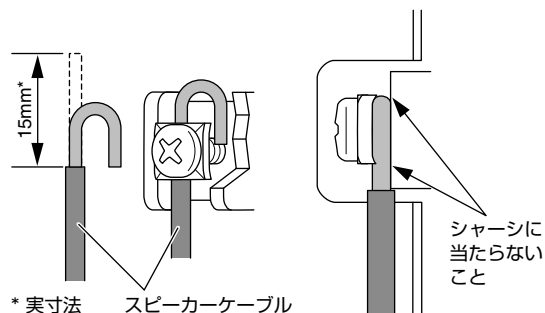
● Y型プラグの場合

Y型プラグを下から奥まで差し込み、プラグが脱落しないようにネジを締め付けます。



● 芯線が剥き出しの場合

下図のようにバリアストリップ端子に巻き付け、ケーブルが脱落しないようにネジを締め付けます。このとき、芯線がシャーシに当たらないようにしてください。



NOTE

- ・[SPEAKERS]ディップスイッチ(215ページ)のスイッチ4を下(ダブルパワーモード)にしている場合、つないでもDチャンネルから音声は出力されません。
- ・[SPEAKERS]ディップスイッチのスイッチ8を下(ダブルパワーモード)にしている場合、つないでもBチャンネルから音声は出力されません。
- ・スピーカーケーブルにテンションがかからないようにしてください。
- ・アンプの+とスピーカーの+は一致するように結線してください。逆にすると極性が反転します。

TIPS

スピーカーケーブルには多くの電流が流れるため、磁界が発生します。スピーカーケーブルの近くにマイクなどの入力ケーブルやマイクアンプのような高感度の回路があると、電磁誘導により入力ケーブルや回路に電流が生じ、ノイズの原因となることがあります。スピーカーケーブルと入力ケーブルや高感度の回路を内蔵している機器は離して設置したうえで、ケーブルを固定することをおすすめいたします。

■ 電源ケーブルを接続する

リアパネルの[AC IN]端子(215ページ)に付属の電源コードを接続します。まずこの機器と電源コードを接続し、次に電源プラグをコンセントに差し込みます。

⚠ 注意

電源コードを接続する前に必ず電源をオフにしてください。

■ 電源をオンにする

フロントパネルにある電源スイッチ (209ページ)で電源をオンにします。

⚠ 注意

電源をオンにする前に、アナログ入力端子に音声信号が入っていない状態にしてください。音声信号が入っていると、電源をオンにしたときにスピーカーに過大入力が入って、スピーカーシステムを破損したり、大きな音で耳に負担がかかる場合があります。また、スピーカーや配線に異常がある場合、電源をオンにした直後に保護回路が作動します。配線などに問題がないかどうか確認してください。

■ アナログ入力を有効にする

フロントパネルで以下の操作をして、アナログ入力を有効にします。

1. [FUNCTION] ボタンを押しながら、エンコーダーを回して、ディスプレイの表示を「**func**」にします。

操作モードが「アナログ/デジタル入力切り替え」になります。

2. アナログ入力を有効にするチャンネルの[SELECT] ボタンを押します。

選択したチャンネルの[SELECT]インジケーターが点灯します。

3. [FUNCTION] ボタンから指を離し、エンコーダーを回して、ディスプレイの表示を「**ANA**」にします。

アナログ入力端子からの入力が有効になります。

NOTE

一定時間操作がない状態が続くと、操作モードが「アッテネーション操作」になります。

■ ハイパスフィルター (HPF) の設定をする

ローインピーダンス接続の設定になっている場合はHPFがOFFになっています。ハイインピーダンス接続の設定になっている場合は80HzのHPFが有効になっています。

設定を変えたい場合は以下の操作をして設定します。

1. [FUNCTION] ボタンを押しながら、エンコーダーを回して、ディスプレイの表示を「**HPF**」にします。

操作モードが「HPF」になります。

2. HPFを設定するチャンネルの[SELECT] ボタンを押します。

HPFを設定するチャンネルの[SELECT]インジケーターが点灯します。

3. エンコーダーを回してHPFを選択します。

選択できるHPFはOFF/40Hz/80Hzです。

NOTE

- ・ハイインピーダンス接続のときは、アンプ保護のためHPFをOFFにできません。
- ・ハイインピーダンス接続でサブウーファーを使用する場合、HPFを40Hzに変更することをおすすめいたします。
- ・ハイインピーダンス接続でフルレンジスピーカーを使用する場合、HPFを80Hz以外にするとアンプの保護機能が働く場合があります。80Hzで運用することをおすすめいたします。
- ・一定時間操作がない状態が続くと、操作モードが「アッテネーション操作」になります。

NOTE

機器を以下のように設定した場合、HPFの設定が自動的に変更されます。

前回起動時	今回起動時		
[SPEAKERS] ディップスイッチ (215ページ)	機器設定ディップ スイッチ 7と8 (214ページ)	[SPEAKERS] ディップスイッチ (215ページ)	HPF
ハイインピー ダンス	RESUME	ローインピー ダンス (変更あり)	オフ
		ハイインピー ダンス (変更なし)	前回起動時と 同じ
ローインピー ダンス		ローインピー ダンス (変更なし)	前回起動時と 同じ
		ハイインピー ダンス (変更あり)	80Hz
(前回起動時の設 定に関わらない)	INITIALIZE	ローインピー ダンス	オフ
		ハイインピー ダンス	80Hz

■ 結線の確認をする

ここでは結線の確認をする際に必要なアッテネーター値の変更方法や、ミュートのオン/オフについて説明します。

確認をする前に、スピーカーの破損などを防ぐために、全チャンネルのアッテネーター値を最低(−99dB)にしておくことをおすすめいたします。

結線は、アナログ入力端子に繋がっているミキサーなどから音声信号を出力している状態で確認してください。

NOTE

スピーカーが遠隔地に設置されていて信号出力が簡単に確認できない場合、[SIGNAL]インジケータ(210ページ)の設定を「出力」にすることで、スピーカーに電流が流れているかどうかを確認できます。インジケータの設定の切り替え方法については「フロントパネル操作」(223ページ)を参照してください。

● アッテネーター値の変更

アッテネーター値は以下の手順で変更します。

1. [FUNCTION] ボタンを押しながら、エンコーダーを回して、ディスプレイの表示を「RtL」にします。
2. 操作するチャンネルの[SELECT] ボタンを押します。
チャンネルの[SELECT]インジケータが点灯します。
3. エンコーダーを回して、アッテネーター値を−99から徐々に上げていき、スピーカーから音が出ることを確認します。

● ミュートのオン/オフ切り替え手順

[MUTE] ボタンを押しながら、操作するチャンネルの[SELECT] ボタンを押します。

ミュートがオンのときは[MUTE]インジケータが点灯し、ミュートがオフのときは[MUTE]インジケータが消灯します。

■ インジケータやディスプレイの輝度を落とす

フロントパネルのLEDインジケータが明るすぎる場合には、輝度を落とすことができます。

電源をオフにしたあと、リアパネルにある機器設定ディップスイッチのスイッチ4(LED DIMMER)を下(ON)にします。次に電源をオンにしたとき、インジケータの輝度が落ちた状態で起動します。

NOTE

[POWER]インジケータの輝度は落ちません。

■ フロントパネルをロックする

電源操作以外のフロントパネルからの操作を禁止することができます(フロントパネルロック)。

設備などへ導入する場合、フロントパネルからの操作を禁止し、設定を固定することで、不用意な設定変更を防ぐことができます。

電源をオフにしたあと、リアパネルにある機器設定ディップスイッチのスイッチ5(PANEL LOCK)を下(LOCK)にします。次に電源をオンにしたとき、フロントパネルはロックされた状態で起動します。

ロックされた状態でも[FUNCTION]ボタンと[SELECT] Aボタンを押すと、ロックを一時解除することができます。ただし、以下の条件のどれかを満たすと、再びロックがかかります。

- ロックを一時解除したあとに、1分間操作がない状態が続く
- [FUNCTION]ボタンと[SELECT] Aボタンを押す
- 電源をオフにする

ロックの状態はフロントパネルの[PANEL LOCK]インジケータで確認できます。

- ロックされている：点灯
- ロックされていない：消灯
- ロックが一時解除されている：点滅

[REMOTE] 端子と [FAULT OUTPUT] 端子

XMVのリアパネルにある[REMOTE]端子、[FAULT OUTPUT]端子の使い方と接続について説明します。

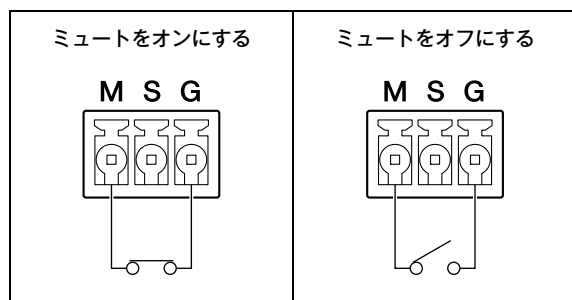
■ [REMOTE] 端子の使い方 (ユーロブロック3ピン)

リアパネルの[REMOTE]端子(215ページ)にスイッチを接続して、離れたところから全チャンネルのミュートのオン/オフや電源のスタンバイ/オン切り替えができます。

[REMOTE]端子は左からMUTE ALL、STANDBY、GNDから構成されています。

[REMOTE]端子には、ユーロブロックプラグを使用します。ユーロブロックプラグの接続方法は「[REMOTE]端子や[FAULT OUTPUT]端子への接続」(222ページ)を参照してください。

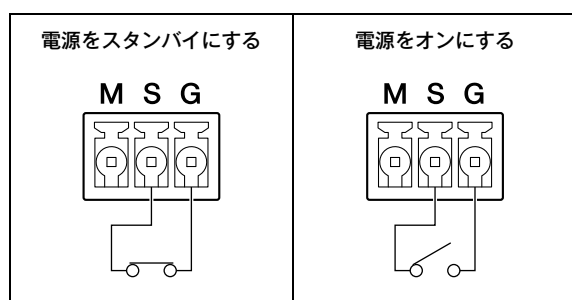
● 全チャンネルのミュートをオン/オフする場合



NOTE

[REMOTE]端子で全チャンネルのミュートをオンにしている場合は、フロントパネルの[MUTE]ボタンで操作できません。

● 電源のスタンバイ/オンを切り替える場合



NOTE

[REMOTE]端子で電源をスタンバイにしている場合、フロントパネルの電源スイッチをオンにしたとき、電源はスタンバイになります。

■ [FAULT OUTPUT] 端子の使い方 (ユーロブロック3ピン)

リアパネルの[FAULT OUTPUT]端子にランプなどを接続して、異常発生を通知したりします。



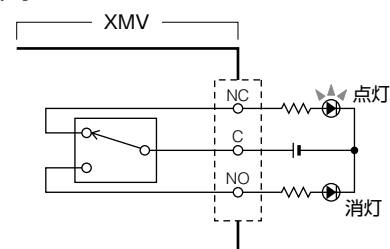
[FAULT OUTPUT]端子(215ページ)はNO(Normally Open)とC(Common)、NC(Normally Close)から構成されています。[FAULT OUTPUT]端子はリレー回路で、以下のように動作します。

	正常時	異常時	電源オフ時
NO	Open	Closed	Closed
NC	Closed	Open	Open

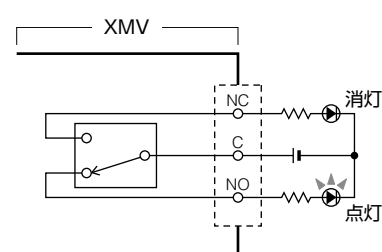
[FAULT OUTPUT]端子には、ユーロブロックプラグを使用します。ユーロブロックプラグの接続方法は「[REMOTE]端子や[FAULT OUTPUT]端子への接続」(222ページ)を参照してください。

例：XMVの正常/異常をLEDで通知する場合

● 正常時



● 電源シャットダウン時



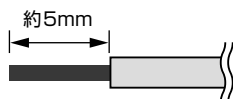
⚠ 注意

リレー接点の定格負荷は、抵抗負荷にて1A、DC 30Vです。この値を超える負荷はかけないようにしてください。

■ [REMOTE]端子や[FAULT OUTPUT]端子への接続

[REMOTE]端子や[FAULT OUTPUT]端子には必ず付属のユーロブロックプラグを使って接続してください。紛失した場合は、ヤマハ修理ご相談センター (232ページ) にお問い合わせください。

事前準備 (ケーブルの処理)

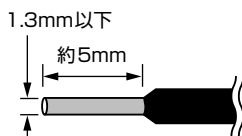


- ユーロブロックプラグに取り付けるケーブルには、より線を使用し、図のようにむき出して配線してください。また、ユーロブロックでの配線は、ケーブルの重さや振動による金属疲労により、より線が切れやすくなる場合があります。

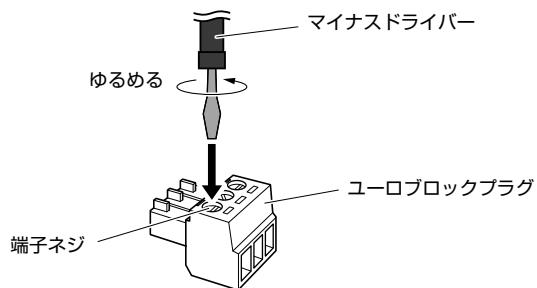
NOTE

より線には、はんだめっきしないでください。

- 可搬設備などで頻繁に抜き差しする場合は、絶縁スリーブ付き棒端子の使用を推奨します。棒端子のコンダクター部は、外径1.3mm以下で、長さ約5mmのもの(Phoenix Contact社製AIO,5-6WHなど)をご使用ください。

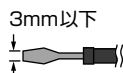


1. 端子ネジをゆるめます。

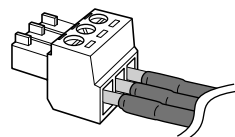


NOTE

マイナスドライバーはブレード幅が3mm以下のものを使用してください。



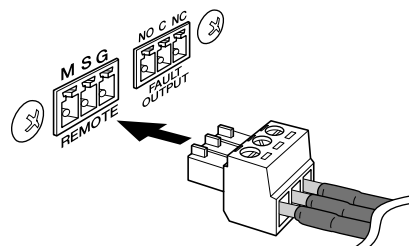
2. ケーブルを差し込みます。



3. 端子ネジをしっかりと締め付けます。

ケーブルを引っ張って抜けないことを確認してください。

4. ユーロブロックプラグを本体の[REMOTE]端子または[FAULT OUTPUT]端子に装着します。



フロントパネル操作

ここではフロントパネルで操作できることを記述します。

NOTE

パラメーターを変更した場合、変更してから1秒間は電源スイッチをオフにしないでください。1秒以内にオフにするとパラメーターが保存されない場合があります。

基本操作

目的	操作	内容														
現在の操作モードの確認	[FUNCTION]	[FUNCTION] ボタンを押しているあいだ、現在の操作モードがディスプレイに表示されます。表示されるモードは以下となります。 <table><tr><th>表示</th><th>操作モード</th></tr><tr><td>Att</td><td>アッテネーション操作</td></tr><tr><td>POL</td><td>極性操作</td></tr><tr><td>HPF</td><td>ハイパスフィルターのオン/オフおよびカットオフ周波数の変更</td></tr><tr><td>Src</td><td>アナログ/デジタル入力切り替え</td></tr><tr><td>SIG</td><td>[SIGNAL] インジケータ表示切り替え</td></tr><tr><td>DIG</td><td>デジタル入力感度の切り替え</td></tr></table>	表示	操作モード	Att	アッテネーション操作	POL	極性操作	HPF	ハイパスフィルターのオン/オフおよびカットオフ周波数の変更	Src	アナログ/デジタル入力切り替え	SIG	[SIGNAL] インジケータ表示切り替え	DIG	デジタル入力感度の切り替え
表示	操作モード															
Att	アッテネーション操作															
POL	極性操作															
HPF	ハイパスフィルターのオン/オフおよびカットオフ周波数の変更															
Src	アナログ/デジタル入力切り替え															
SIG	[SIGNAL] インジケータ表示切り替え															
DIG	デジタル入力感度の切り替え															
操作モードの変更	[FUNCTION] + エンコーダー *1	エンコーダー操作で操作モードが切り替わります。 [FUNCTION] ボタンを離したときの操作モードになり、ディスプレイにはパラメーター値が表示されます。 一定時間操作がない状態が続くと、操作モードが「アッテネーション操作」に戻ります。														
ミュートのオン/オフ	[MUTE] + ミュートするチャンネルの[SELECT] *1	ミュートがオンになると選択したチャンネルの[MUTE] インジケータが点灯します。 ミュートがオフになると[MUTE] インジケータは消灯します。														
フロントパネルロックの一時解除/ 再ロック	[FUNCTION] + [SELECT] A *1	フロントパネルロックが一時解除されると[PANEL LOCK] インジケータが点滅します。 フロントパネルロックがロックになると[PANEL LOCK] インジケータは点灯します。ロック中はディスプレイに「Lc」が表示されます。 フロントパネルロックを一時解除していても、1分以上操作がないか、電源をオフにすると再度ロックされます。														

*1: 「X+Y」は「Xを操作しながら、Yを操作する」の意味です。たとえば「[SELECT] A+エンコーダー」の場合、「[SELECT] A ボタンを押しながら、エンコーダーを操作する」になります。

■ パラメーター操作

目的	操作モード (ディスプレイ表示)	操作	内容								
アッテネーター値(ボリューム)の変更	アッテネーター (<i>Att</i>)	変更するチャンネルの [SELECT] → エンコーダー *2	選択されたチャンネルの[SELECT]インジケータが点灯し、アッテネーター値がエンコーダー操作で変更できます。 変更範囲は-99dB～0dBで1dB単位で設定できます。								
極性(ポラリティ)の変更	極性操作 (<i>Pol</i>)	変更するチャンネルの [SELECT] → エンコーダー *2	選択されたチャンネルの[SELECT]インジケータが点灯し、極性をエンコーダー操作で変更できます。 <table><tr><th>表示</th><th>極性</th></tr><tr><td><i>nor</i></td><td>正相</td></tr><tr><td><i>inv</i></td><td>反転</td></tr></table>	表示	極性	<i>nor</i>	正相	<i>inv</i>	反転		
表示	極性										
<i>nor</i>	正相										
<i>inv</i>	反転										
ハイパスフィルター (HPF) の カットオフ周波数の変更 ハイパスフィルター (HPF) の オフ	HPF (<i>HPF</i>)	変更するチャンネルの [SELECT] → エンコーダー *2	選択されたチャンネルの[SELECT]インジケータが点灯し、ハイパスフィルター (HPF)のオン/オフおよびカットオフ周波数をエンコーダー操作で変更できます。ハイインピーダンス接続の設定にしたときは80Hz、ローインピーダンス接続の設定にしたときはOFFに設定されます。 <table><tr><th>表示</th><th>意味</th></tr><tr><td><i>OFF</i></td><td>HPFがオフ</td></tr><tr><td><i>40</i></td><td>カットオフ周波数が40Hz</td></tr><tr><td><i>80</i></td><td>カットオフ周波数が80Hz</td></tr></table> ハイインピーダンス接続の設定のときは、アンプ保護のため、選択されたチャンネルのHPFをOFFにできません。	表示	意味	<i>OFF</i>	HPFがオフ	<i>40</i>	カットオフ周波数が40Hz	<i>80</i>	カットオフ周波数が80Hz
表示	意味										
<i>OFF</i>	HPFがオフ										
<i>40</i>	カットオフ周波数が40Hz										
<i>80</i>	カットオフ周波数が80Hz										
入力切り替え (アナログ/デジタル)	アナログ/デジタル入力切り替え (<i>Src</i>)	エンコーダー操作	選択されたチャンネルの[SELECT]インジケータが点灯し、アナログ/デジタル入力の切り替えをエンコーダー操作で変更できます。 <table><tr><th>表示</th><th>入力端子</th></tr><tr><td><i>AnA</i></td><td>アナログ入力端子</td></tr><tr><td><i>DIG</i></td><td>[YDIF]端子 (XMV4280/XMV4140) Dante [PRIMARY]/ [SECONDARY]端子 (XMV4280-D/XMV4140-D)</td></tr></table> [YDIF]端子またはDante [PRIMARY]/[SECONDARY]端子を使って音声ネットワークを構築している場合は、アナログにしないでください。アナログにすると、YDIFまたはDanteでつながっている機器の音声送受信が停止します。	表示	入力端子	<i>AnA</i>	アナログ入力端子	<i>DIG</i>	[YDIF]端子 (XMV4280/XMV4140) Dante [PRIMARY]/ [SECONDARY]端子 (XMV4280-D/XMV4140-D)		
表示	入力端子										
<i>AnA</i>	アナログ入力端子										
<i>DIG</i>	[YDIF]端子 (XMV4280/XMV4140) Dante [PRIMARY]/ [SECONDARY]端子 (XMV4280-D/XMV4140-D)										
[SIGNAL]インジケータ表示切り替え (入力信号/出力信号)	[SIGNAL]インジケータ表示切り替え (<i>Sig</i>)	エンコーダー操作	[SIGNAL]インジケータに入力信号レベルを表示するか、出力信号レベルを表示するかをエンコーダー操作で変更できます。 <table><tr><th>表示</th><th>点灯条件</th></tr><tr><td><i>in</i></td><td>入力</td></tr><tr><td><i>out</i></td><td>出力</td></tr></table>	表示	点灯条件	<i>in</i>	入力	<i>out</i>	出力		
表示	点灯条件										
<i>in</i>	入力										
<i>out</i>	出力										
デジタル入力感度の切り替え * デジタル入力感度： 入力アッテネーターが0 dB (ボリューム最大)のときにアンプ最大出力が出るデジタル入力レベル。「Block Diagram」(236ページ)を参照してください。	デジタル入力感度 (<i>dbs</i>)	エンコーダー操作	デジタル入力感度をエンコーダー操作で変更できます。誤操作防止のため、ある程度回さないと切り替わらないようになっています。切り替わるまでは「---」と表示されます。 <table><tr><th>表示</th><th>デジタル入力感度</th></tr><tr><td><i>-20</i></td><td>-20 dBFS</td></tr><tr><td><i>-3</i></td><td>-3 dBFS</td></tr><tr><td>---</td><td>(切り替え時の途中表示)</td></tr></table>	表示	デジタル入力感度	<i>-20</i>	-20 dBFS	<i>-3</i>	-3 dBFS	---	(切り替え時の途中表示)
表示	デジタル入力感度										
<i>-20</i>	-20 dBFS										
<i>-3</i>	-3 dBFS										
---	(切り替え時の途中表示)										

*2: 「X→Y」は「Xを操作したあと、Yを操作する」の意味です。たとえば「[SELECT] A→エンコーダー」の場合、「[SELECT] Aボタンを押したあと、エンコーダーを操作する」になります。

内蔵メモリーの初期化

設置場所の変更などで内蔵メモリーを工場出荷時の設定に戻す(初期化する)ときは以下のように操作してください。

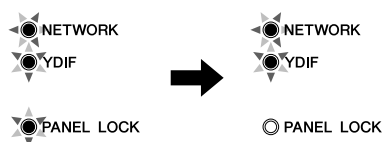
1. 電源をオフにしてください。
2. 機器設定ディップスイッチの7を下に、8を上にしてください。



3. 電源をオンにしてください。初期化がはじまります。

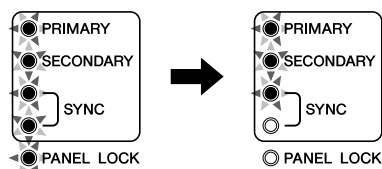
• XMV4280/XMV4140の場合

初期化中は[NETWORK]、[YDIF]、[PANEL LOCK]の各インジケータが点滅します。初期化が完了すると[NETWORK]と[YDIF]のインジケータが点滅します。



• XMV4280-D/XMV4140-Dの場合

初期化中は[PRIMARY]、[SECONDARY]、[SYNC](緑)、[SYNC](橙)、[PANEL LOCK]の各インジケータが点滅します。初期化が完了すると[PRIMARY]、[SECONDARY]、[SYNC](緑)のインジケータが点滅します。



初期化に失敗したときは、[POWER]インジケータが点灯、[ALERT]インジケータが点滅、その他のインジケータは消灯します。お買い上げの販売店または巻末のヤマハ修理ご相談センターに点検をご依頼ください。

4. 初期化の完了を確認して、電源をオフにしてください。

5. 機器設定ディップスイッチの7と8の両方を上 (RESUME) にしてください。



6. 電源をオンにしてください。

初期化されるのは以下のメモリーです。

- アッテネーター値
- 極性設定
- HPF設定
- アナログ/デジタル入力設定
- [SIGNAL]インジケータ表示設定
- イベントログ

* 工場出荷時には、すべての機器設定ディップスイッチが上になっています。

困ったときは(トラブルシューティング)

症状	考えられる原因	対策
電源がオンにならない	電源ケーブルが抜けている	電源ケーブルを接続してください。
音が出ない	アナログ/デジタル入力設定が間違っている	フロントパネルでアナログ/デジタル入力設定を確認してください。
	ダブルパワーモードになっている	ダブルパワーモードのときにはBチャンネルおよびDチャンネルから音声信号が出力されません。ダブルパワーモードを解除するか、ケーブルをつなぎ直してください。
	入出力のケーブルが抜けている	入出力のケーブルを接続してください。また、プラグからケーブルが抜けていないかどうかを確認してください。
	ミュートがオンになっている	[MUTE]インジケータが消灯していることを確認してください。点灯している場合は、ミュートをオフにしてください。
	アッテネーター値が低い	「アッテネーション操作」に切り替え (223ページ)、ディスプレイ (210ページ)でアッテネーター値が適切であるかどうか確認してください。
	音声信号が入力されていない	ミキサーなどのXMVに音声信号を出力している機器から音声信号が出力されているか確認してください。
	保護回路が機能している ([PROTECTION]インジケータが点灯)	電源をオフにして、XMVが冷えてから電源をオンにしてください。
	スタンバイになっている ([POWER]インジケータが点滅)	[REMOTE]端子に接続されているスイッチがオンになっていることを確認してください。またはエディターでオンになっていることを確認してください。
	デジタル入力のときにMTXに異常が発生している (XMV4280/XMV4140: [YDIF]インジケータが消灯、XMV4280-D/XMV4140-D: 緑色の[SYNC]インジケータが消灯)	MTXを確認してください。詳細についてはMTXの取扱説明書を参照してください。
	YDIFでつながっている機器の中にアナログ設定になっている機器がある (XMV4280/XMV4140のみ)	アナログ/デジタル入力設定をデジタルにしてください。アナログで使う場合はYDIFのネットワークから切り離してください。
電源をオン/オフしても、[ALERT]インジケータが点滅または点灯したままになる	機器が故障している	機器が故障しているので、ヤマハ修理ご相談センター (232ページ)にご連絡ください。

* 上記の対策を実施しても症状が改善しない場合は、ヤマハ修理ご相談センター (232ページ)にお問い合わせください。

ヤマハプロオーディオサイトに、FAQ(よくあるご質問と答え)を掲載しています。

<http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/>

アラート一覧

異常が発生すると、[ALERT]インジケータが点滅し、ディスプレイにアラート番号が表示されます。
アラート番号に対する内容および対策は以下のようになります。

アラート番号	内容	対策
表示なし ([ALERT] のみ点灯)	機器が正常に起動していません。	電源をいったんオフにして、5秒以上間隔を空けてから電源をオンにしてください。問題が解決しない場合は、メモリの初期化を実行してください。それでも解決しない場合は、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
001.~008.		
010.	内蔵バックアップバッテリーが完全に消耗しているか、装着されていません。	電源をオフにすると現在の設定が失われ、初期値に戻ります。ただちに使用を中止して、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
011.	内蔵バックアップバッテリーが極端に消耗しており、メモリーが消滅している可能性があります。	
012.	内蔵バックアップバッテリーの残量が少なくなっています。	使用に支障はありませんが、継続して使用すると設定が失われ、初期設定に戻る可能性があります。お早めにヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
013.	内蔵時計に異常が発生したので、初期値(2000年1月1日 0時0分)にしました。	電源をオンにするたびに発生する場合は内蔵バックアップバッテリーが消耗しているか、機器が故障している可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。 一度だけの場合は時計の設定値の異常を検出して初期化しましたので、エディターを使って時刻を設定してください。
015.	内蔵メモリーに保存される設定が失われています。	内蔵バックアップバッテリーが消耗しているか、機器が故障している可能性があります。ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
016.	機器の内蔵メモリーが故障している可能性があります。	ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
021.	ワードクロックマスターに選択されたデジタル信号がアンロックになりました。	ワードクロック信号が正常に入力されているか確認してください。
022.	[YDIF IN]端子に入力されたデジタル信号が、この機器のワードクロックに対して同期していません。	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 指定された仕様のケーブルを使ってください。
023.	[YDIF IN]端子に入力されたデジタル信号が、この機器のワードクロックに対して継続的に同期していません。	
030.	[YDIF IN]端子の接続に異常があります。	ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 指定された仕様のケーブルを使ってください。
040.	IPアドレスが重複しています。	IPアドレスが重複しないように設定してください。
041.	起動してから60秒以内にIPアドレスが確定しませんでした。	機器設定ディップスイッチのスイッチ6(IP SETTING)が「PC」に設定されている場合は、エディターやDHCPサーバーでIPアドレスを設定してください。
043.	ネットワークに接続している機器が多すぎます。	ネットワークに接続している機器の数を減らしてください。
046.	Danteの送信フロー数が制限を超えました。	Dante Controllerで送信フローの一部をマルチキャストに変更するなど、フロー数を減らしてください。
050.	UNIT IDに「00」が設定されています。	UNIT IDを「00」以外に設定してください。
051.	同一ネットワークに接続された機器に、同一のUNIT IDを持つ機器が発見されました。	UNIT IDが重複しないように設定してください。
072.	DanteにDevice Lockが設定されているため、ディップスイッチやMTX-MRX Editorの設定とDanteの設定が一致しません。	Device Lockの設定をしている場合は、Dante Controllerから解除するか、ディップスイッチの設定や、MTX-MRX EditorのDanteの設定を見直し、現状に合わせて正しく設定してください。
100.	スピーカー出力端子に直流成分が検出されたため、電源がシャットダウンされました。	機器の故障と思われるので、ヤマハ修理ご相談センターにご連絡ください。
101.	電源の温度が規定値を超えたため、電源がシャットダウンされました。	電源をオフにして、電源を冷やしてから再度電源をオンにしてください。連続して大電力を出力すると高温になりますので、出力レベルを下げてください。それでも温度が高い場合は、冷却用ファンの吸気口にゴミや異物が詰まっていないか確認して、掃除してください。

アラート番号	内容	対策
103.	プロテクションが働き、電源がシャットダウンされました。	高負荷状態が連続しているため、出力レベルを下げてください。発生した要因については「[PROTECTION] A/B/C/D インジケータ」(209ページ)を参照してください。
104.	プロテクションが働き、出力がミュートされました。	
105.	スピーカー出力端子のショートが検出されたため、出力がミュートされました。	スピーカー出力端子の+と-がショートしているか、接続しているスピーカーが故障している可能性があります。
106.	アンプ部(ヒートシンク)の温度が変化し、次のスピーカー出力状態になりました。(***) **** = 0dB and OK -1dB and in protection muted and in protection	連続して大電力を出力すると高温になりますので、出力レベルを下げてください。それでも温度が高い場合は、冷却用ファンの吸気口にゴミや異物が詰まっているか確認して、掃除してください。
110.	Redundant Backup機能が動作し、該当するチャンネルA～Dがアナログ入力に切り替わりました。	デジタル信号に異常があります。デジタル回線の接続やパイロットトーン信号が入力されているかを確認してください。

Dante関連メッセージ(XMV4280-D/XMV4140-Dのみ)

XMV4280-D/XMV4140-Dでは、フロントパネルのインジケータを使用して警告メッセージとインフォメーションメッセージを表示します。

また、Dante ControllerのError Statusにもメッセージが表示されます。

各インジケータの点灯/点滅は以下のように動作します。

消灯	消灯します。
点灯	点灯し続けます。
点滅	点滅し続けます。
2回点滅	周期的に2回点滅します。

■ インフォメーションメッセージ

インジケータの点灯/点滅により、状態を通知します。

橙色の[SYNC]インジケータが消灯している場合は、正常に動作しています。

緑色の[SYNC]インジケータが消灯している場合は、機器のクロックが未確定であることを示します。

[SYNC]インジケータ	内容	説明
(緑)消灯  } SYNC (橙)点灯 	同期処理をしている。	同期が完了するまでお待ちください。同期が完了するまで60秒くらいかかることがあります。
(緑)点滅  } SYNC (橙)消灯 	ワードクロックマスターとして正常に機能している。	機器がワードクロックマスターであることを示します。
(緑)点灯  } SYNC (橙)消灯 	ワードクロックスレーブとして正常に機能している。	機器がワードクロックスレーブであり、クロックが同期していることを示します。

■ 警告メッセージ

問題が解消されるまで、インジケータは点灯/周期的に点滅します。

緑色の[SYNC]インジケータが消灯している場合は、機器のクロックが未確定であることを示します。

[SYNC]インジケータ	内容	対策方法
(緑)消灯  } SYNC (橙)点滅 	ワードクロックの設定が間違っている。	MTX-MRX EditorまたはDante Controllerでクロックマスターとサンプリング周波数を正しく設定してください。
(緑)消灯  } SYNC (橙)2回点滅 	Danteネットワークの回線が繋がっていない。	イーサネットケーブルが抜けていないか、または断線していないか確認してください。

緑色のインジケータが点滅している場合は、機器がクロックマスターであることを示します。

緑色のインジケータが点灯している場合は、機器がクロックスレーブでありクロックが同期していることを示します。

[SYNC]インジケータ	内容	対策方法
(緑)点滅または点灯  } SYNC (橙)点灯 	ギガビットイーサネットに対応していない機器が接続されている。	Danteでの音声伝送をする場合は、ギガビットイーサネットに対応した機器をご使用ください。
(緑)点滅または点灯  } SYNC (橙)点滅 	リダンダンシーネットワークのときに、Dante [SECONDARY]端子で通信をしている。	Dante [PRIMARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。
(緑)点滅または点灯  } SYNC (橙)2回点滅 	リダンダンシーネットワークのときに、Dante [SECONDARY]端子に接続されている回線に異常が発生した。	Dante [SECONDARY]端子に接続されている方の回線を確認してください。

ハインピーダンス接続とローインピーダンス接続

ハインピーダンス接続とは、スピーカースystemにスピーカートランスを取り付けることでインピーダンスを数百Ωから数kΩに上げてパワーアンプと接続する方式です。このようにすることで、ローインピーダンス接続に比べて、はるかに少ない電流でスピーカースystemを駆動できます。すなわち多数のスピーカースystemが接続できるようになるということです。ハインピーダンス接続した場合のパワーアンプ側の最大出力電圧は、70Vまたは100Vで動作させるのが一般的です。

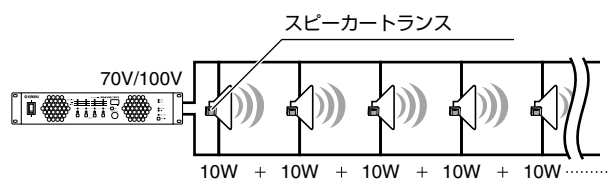
一方、ローインピーダンス接続はスピーカートランスを使用せず、スピーカースystemの定格インピーダンス(4～16Ωが一般的)のままパワーアンプと接続する方式です。それぞれの接続方式の違いなどを説明します。

■ 駆動できるスピーカースystemの数

● ハインピーダンス接続

使用するスピーカースystemの定格入力の合計値がパワーアンプの出力値以内に収まっている限りは、何台でもスピーカースystemを並列接続できます。ハインピーダンス接続の場合、スピーカースystemの定格入力値はスピーカースystemと使用するスピーカートランスの設定で決まります。280W出力のXMV4280と、スピーカートランスの取り付けにより定格入力値が10Wになったスピーカースystemの場合、計算上(*)1チャンネルあたり最大24台、4チャンネル合計で最大96台のスピーカースystemが接続できます。異なる定格入力値のスピーカースystemを混在させて接続することもできます。

(*) トランスの1次側インピーダンスの偏差や将来のトランスタップ変更、スピーカーの追加を加味して20%程度のマージンを持つことをお勧めします。



● ローインピーダンス接続

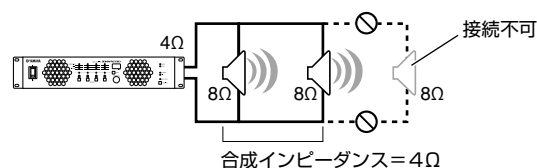
一般的には1チャンネルに1台のスピーカースystemを接続します。

したがってXMVに接続できるスピーカースystemの台数は、4台にとどまります。

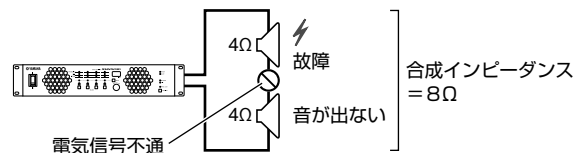
ただし、ローインピーダンス接続でも1チャンネルに対して複数のスピーカースystemを接続する方法があります。

ひとつめは「並列接続」という方法です。

同じインピーダンスのスピーカースystemを並列接続した場合、スピーカースystem全体の合成インピーダンスは1本あたりのスピーカースystemのインピーダンスを台数で割った値になります。XMVで4Ωに設定した場合、接続できる8Ωのスピーカースystemの台数は2台まで、ということになります。



もうひとつ、「直列接続」という方法があります。直列接続の場合、スピーカースystem全体の合成インピーダンスは各スピーカースystemのインピーダンスの和になります。ただし、仮にひとつのスピーカースystemが故障した場合、そこで電気信号がせき止められてしまうため他のスピーカースystemにも影響を与えてしまいます。

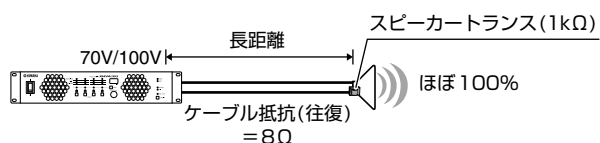


■ 伝送の距離と効率

電気信号を送るケーブルには抵抗があります。伝送距離が短い、すなわちケーブルが短い場合の抵抗はほとんど無視できますが、伝送距離が長くなると抵抗が増大し、そのままでは電気信号の伝送効率、ひいては音質にまで影響を与えます。以下、伝送の距離と効率の関係から両方式のメリットとデメリットをご紹介します。

● ハイインピーダンス接続

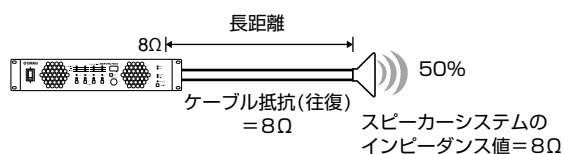
長距離伝送でケーブルの抵抗が 8Ω になった場合でも、スピーカーシステムのインピーダンス値に対して無視できるくらいの値のため、ケーブルでの伝送ロスがほとんどなく、したがって電気信号の伝送効率にもほとんど影響を及ぼしません。



● ローインピーダンス接続

短距離伝送のときは、ローインピーダンス接続が、ハイインピーダンス接続よりも音質的に有利です。ローインピーダンス接続では、スピーカートランスがなくてもXMVおよびスピーカーシステムの性能をそのまま発揮できます。また、基本的にXMVのチャンネルごとに1台ずつスピーカーシステムを接続するので、スピーカーシステムごと(ゾーンごと)に異なる音声信号を送ることができる点も有利です。

しかし、長距離伝送でケーブルの抵抗が 8Ω になった場合、スピーカーシステムのインピーダンス 8Ω と同等になるのでXMVの出力を分け合い(ケーブルで電圧ロスが発生し)、理論上、電気信号の伝送効率が50%まで下がってしまいます。したがってローインピーダンス接続の場合は、ケーブルの抵抗が無視できる範囲に伝送距離を短く抑えるか、そうでなければケーブルを太くするなどの対策が必要になる場合があります。



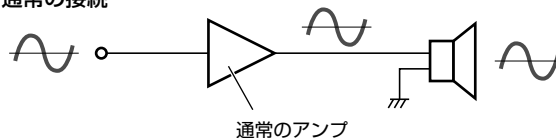
BTL(Balanced Transformer Less) 接続

BTL接続すると、2チャンネル分のアンプを1チャンネルのアンプとして使用するため出力が2倍になります。

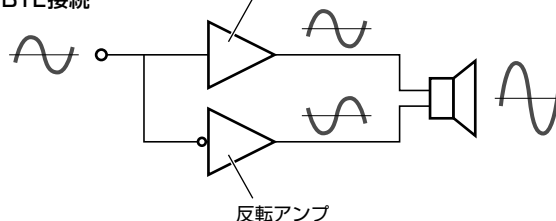
NOTE

プラスマイナスそれぞれの端子にアンプ出力が接続されているので、他の端子やシャーシとの接触は故障の原因になりますのでご注意ください。

通常の接続



BTL接続



アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター



0570-050-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5488-5447**

受付時間 月曜日～金曜日 11:00 ～ 18:00
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート <http://jp.yamaha.com/support/>

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター



0570-012-808

※ 固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。
通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

FAX 03-5762-2125 東日本(北海道/東北/関東/甲信越/東海)
06-6649-9340 西日本(北陸/近畿/四国/中国/九州/沖縄)

修理品お持ち込み窓口

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1

京浜トラクタートミナル内14号棟A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1丁目13-17

ナンバ辻本ニッセイビル7F

FAX 06-6649-9340

受付時間

月曜日～金曜日 10:00 ～ 17:00

(土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く)

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町41-12

KDX 箱崎ビル1F

保証と修理について

保証と修理についての詳細は下記のとおりです。

●保証書

本書に保証書が掲載されています。購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書など)とあわせて、大切に保管してください。

●保証期間と期間中の修理

保証書をご覧ください。保証書記載内容に基づいて修理させていただきます。お客様に製品を持ち込んでいただくか、サービスマンが出張修理にお伺いするのは、製品ごとに定められています。

●保証期間経過後の修理

ご要望により有料にて修理させていただきます。使用時間や使用環境などで劣化する下記の有寿命部品などは、消耗劣化に応じて交換が必要となります。有寿命部品の交換は、お買い上げ店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。

有寿命部品

フェーダー、ボリューム、スイッチ、接続端子など

●補修用性能部品の最低保有期間

製品の機能を維持するために必要な部品の最低保有期間は、製造終了後8年です。

●修理のご依頼

本書をもう一度お読みいただき、接続や設定などをご確認のうえ、お買い上げの販売店またはヤマハ修理ご相談センターまでご連絡ください。修理をご依頼いただくときは、製品名、モデル名などとあわせて、製品の状態をできるだけ詳しくお知らせください。

●損害に対する責任

本製品(搭載プログラムを含む)のご使用により、お客様に生じた損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失、そのほかの特別損失や逸失利益)については、当社は一切その責任を負わないものとします。また、いかなる場合でも、当社が負担する損害賠償額は、お客様がお支払いになったこの商品の代価相当額をもって、その上限とします。

* 名称、住所、電話番号、営業時間、URL などに変更になる場合があります。

持込修理

保証書

品 名	パワーアンプリファイアー		
※品 番			
※シリアル番号			
保 証 期 間	本 体	お買上げの日から1年間	
※お買上げ日	年 月 日		
お 客 様	□□□-□□□□		
	ご住所		
	お名前		
	電 話 () 様		

ご販売店様へ ※印欄は必ずご記入ください。

本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。
お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示
の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。
ご依頼の際は、購入を証明する書類(レシート、売買契約書、納品書
など)をあわせてご提示ください。

(詳細は下項をご覧ください)

※販 売 店	店 名	印
	所在地	
	電 話	
	()	

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F
TEL. 03-5652-3850

保証規定

- 保証期間中、正常な使用状態(取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態)で故障した場合には、無償修理を致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。
- ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 本書のご提示がない場合。
 - 本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。
 - 使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
 - 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
 - お客様のご要望により出張修理を行なう場合の出張料金。

- この保証書は日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- この保証書は再発行致しかねますので大切に保管してください。
- この保証書は本書に示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。
- ご記入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報は、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報は適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。
- その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

Specifications

General Specifications

		XMV4280	XMV4140	XMV4280-D	XMV4140-D
Output Power					
1kHz, THD+N=1% (20 ms Burst)	4 Ω	280W	140W	280W	140W
	8 Ω	280W	140W	280W	140W
	4 Ω / DOUBLE POWER MODE	560W	280W	560W	280W
	8 Ω / DOUBLE POWER MODE	560W	280W	560W	280W
High Impedance	100V (RL=40 Ω /XMV4280) (RL=80 Ω /XMV4140)	250W	125W	250W	125W
	70V (RL=20 Ω /XMV4280) (RL=40 Ω /XMV4140)	250W	125W	250W	125W

Amplifier Type (Output Circuitry)		Class D			
THD+N	1kHz, half power, 4 Ω All channel output	$\leq 0.2\%$			
	1kHz, half power, 100V, 70V All channel output	$\leq 0.2\%$			
Frequency Response	1W, 280W/8 Ω , 20Hz–20kHz (XMV4280)	0dB, ± 1.0 dB			
	1W, 140W/8 Ω , 20Hz–20kHz (XMV4140)				
	1W, 100V/70V, 55Hz–20kHz				
Crosstalk	1kHz, half power, 8 Ω Att. max, input 150 Ω shunt	≤ -60 dB			
Residual Noise	A-weighted 280W, 8 Ω	≤ -65 dBu			
S/N Ratio	A-weighted 280W or 140W mode	≥ 100 dB			
Input Sensitivity		+4 dBu (1.23V)			
Voltage Gain	100V	38.2dB	38.2dB	38.2dB	38.2dB
	70V	35.2dB	35.2dB	35.2dB	35.2dB
	280W (140W)/8 Ω	31.7dB	28.7dB	31.7dB	28.7dB
	560W (280W)/8 Ω	34.7dB	31.7dB	34.7dB	31.7dB
Load Protection	Power switch on/off	Mute the output			
	DC-fault	Power supply shutdown			
Amplifier Protection	Thermal	Mute the output (heatsink temp. $\geq 90^{\circ}\text{C}$) (return automatically.)			
	Overcurrent	Mute the output (return automatically.)			
	Low load impedance	Mute the output (return automatically.)			
Power Supply Protection	Thermal	Power supply shutdown (heatsink temp. $\geq 100^{\circ}\text{C}$)			
	Integrated power	Gain reduction (return automatically.)			
Limiter Circuit	Clip limiting	Clip limiter			
Cooling		3 speed fan x 2, front-to-back airflow			
Maximum Input Level		+24dBu			
Input Impedance		20k Ω (balanced) 10k Ω (unbalanced)			
Sampling Frequency		48kHz			
A/D, D/A Converters		AD: 24-bit linear, 128 times over sampling DA: 24-bit linear, 128 times over sampling			
Signal Processing		32 bit digital signal processing			
Latency	Analog input $\rightarrow$ [SPEAKERS] output	1.85msec			
	[YDIF] input $\rightarrow$ [SPEAKERS] output (fs=48kHz)	1.08msec		—	
	[YDIF] input $\rightarrow$ [SPEAKERS] output (fs=44.1kHz)	1.17msec		—	
	Dante [PRIMARY]/[SECONDARY] input $\rightarrow$ [SPEAKERS] output (fs=48kHz, Dante latency setup = 0.25msec)	—		1.33msec	
	Dante [PRIMARY]/[SECONDARY] input $\rightarrow$ [SPEAKERS] output (fs=44.1kHz, Dante latency setup = 0.25msec)	—		1.42msec	

		XMV4280	XMV4140	XMV4280-D	XMV4140-D
Controls	Front panel	Power switch (rocker), Rotary encoder x 1, [FUNCTION] button x 1, [SELECT] button x 4, [MUTE] button x 1			
	Front panel (software)	ATT (-99dB to 0dB, 1dB step), POLARITY, HPF (OFF, 40Hz, 80Hz), *40Hz or 80Hz for Hi-Z output setup INPUT SOURCE (ANALOG/DIGITAL), SIGNAL LED (INPUT/OUTPUT)			
	Rear panel	AMP SETTING switch (OUTPUT FORMAT, IMPEDANCE, DOUBLE POWER MODE, HI-Z LEVEL, per 2 channels), SETUP switch (UNIT ID, LED DIMMER, PANEL LOCK, IP SETTING, START UP MODE), Rotary switch (UNIT ID)		AMP SETTING switch (OUTPUT FORMAT, IMPEDANCE, DOUBLE POWER MODE, HI-Z LEVEL, per 2 channels), SETUP switch (SECONDARY PORT, LED DIMMER, PANEL LOCK, IP SETTING, START UP MODE), Rotary switch x 2 (UNIT ID HIGH, UNIT ID LOW)	
Connectors	Analog input	Euroblock (5.08mm pitch, balanced) /ch			
	Digital I/O	RJ45 x 2 ([YDIF] IN/OUT)		RJ45 x 2 (Dante [PRIMARY]/[SECONDARY])	
	Speakers	Barrier strip /ch			
	Network	RJ45 x 1		—	
	Remote	Euroblock (3.50mm pitch) x 1			
	Fault output	Euroblock (3.50mm pitch) x 1			
	Power	AC inlet x1			
Indicators		[POWER] x 1 (green), [ALERT] x 1 (red), [PANEL LOCK] x 1 (orange), [PROTECTION] x 4 (orange), [LIMIT] x 4 (red), [MUTE] x 4 (yellow), [SIGNAL] x 4 (green), [SELECT] x 4 (green), [NETWORK] x 1 (green), [YDIF] x 1 (green)		[POWER] x 1 (green), [ALERT] x 1 (red), [PANEL LOCK] x 1 (orange), [PROTECTION] x 4 (orange), [LIMIT] x 4 (red), [MUTE] x 4 (yellow), [SIGNAL] x 4 (green), [SELECT] x 4 (green), [PRIMARY] x 1 (green), [SECONDARY] x 1 (green), [SYNC] x 2 (green, orange)	
Display		3 digit, 7 segment numeric display			

AC Power Requirement		100V, 120V, 230V–240V 50Hz/60Hz			
Power Consumption	1/8 MAX power, (4Ω)	250W	150W	250W	150W
	Idle (4Ω)	37W	37W	37W	37W
	Standby	18.5W	18.5W	18.5W	18.5W
Operating Temperature		0°C to +40°C			
Storage Temperature		-20°C to +60°C			

Dimensions (W x H x D, including knob)		480 x 88 x 422 mm (18.9 x 3.5 x 16.6 inches)			
Net Weight		8.1 kg (17.9 lbs)			
Included Accessories		AC power cord (2.5m) x 1, Euroblock plug (3-pin, 3.50mm pitch) x 2, Euroblock plug with tabs (3-pin, 5.08mm pitch) x 4, Cable tie x 4, Owner's Manual x 1			
Optional Accessories		—			

■ [SIGNAL] Indicator Lit Level

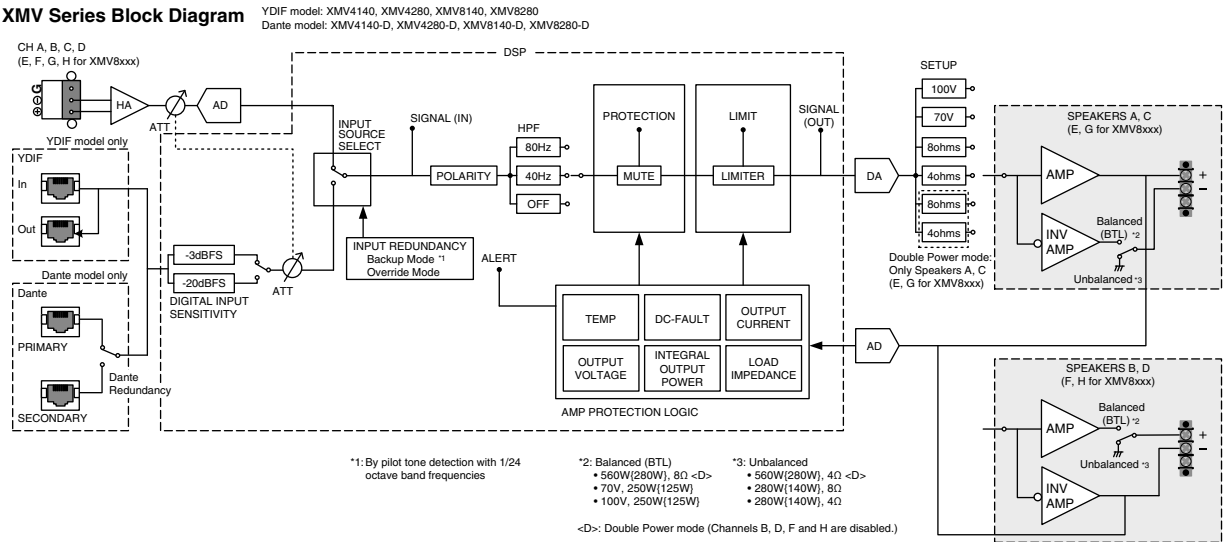
XMV4280/XMV4280-D

	Lit level		
	dBu	Vrms	W
100V	8.7	2.11	—
70V	5.6	1.48	—
560W/8Ω	5.2	1.41	0.249
560W/4Ω	2.2	1.00	0.250
280W/8Ω	2.2	1.00	0.125
280W/4Ω	-0.8	0.71	0.125

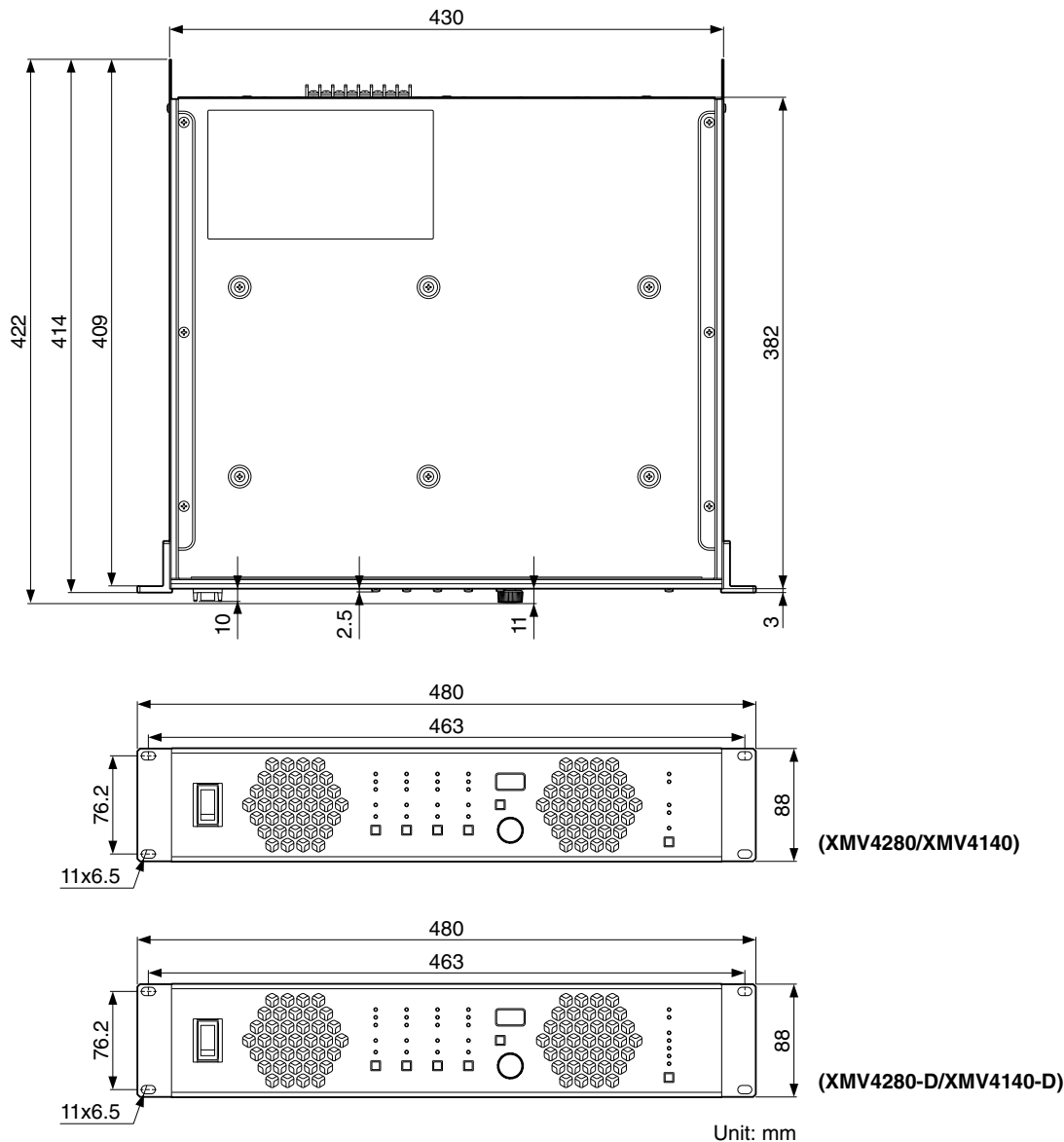
XMV4140/XMV4140-D

	Lit level		
	dBu	Vrms	W
100V	8.7	2.11	—
70V	5.6	1.48	—
280W/8Ω	2.2	1.00	0.125
280W/4Ω	-0.8	0.71	0.125
140W/8Ω	-0.8	0.71	0.063
140W/4Ω	-3.8	0.50	0.063

Block Diagram



Dimensions



Current Draw and Heat Dissipation

● XMV4280/XMV4280-D

Power Specifications (PINK NOISE, 100V/50Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	280W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	280W/8Ω					
	560W/4Ω					
	560W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	280W/4Ω	0.5	37	37	127	32
	280W/8Ω	0.5	37	37	127	32
	560W/4Ω	0.4	31	31	106	27
	560W/8Ω	0.5	36	36	124	31
	100V	0.6	48	48	165	41
	70V	0.6	48	48	165	41
1/8 output power	280W/4Ω	2.2	218	78	268	67
	280W/8Ω	2.0	203	64	218	55
	560W/4Ω	2.2	214	75	256	64
	560W/8Ω	2.2	211	71	244	61
	100V	2.0	190	65	223	56
	70V	2.1	196	71	244	61
1/3 output power	280W/4Ω	5.2	499	123	422	106
	280W/8Ω	4.9	470	97	332	84
	560W/4Ω	5.0	485	113	386	97
	560W/8Ω	5.2	505	131	449	113
	100V	4.3	416	84	288	73
	70V	4.6	445	106	364	92

Power Specifications (PINK NOISE, 120V/60Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	280W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	280W/8Ω					
	560W/4Ω					
	560W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	280W/4Ω	0.4	37	37	127	32
	280W/8Ω	0.4	37	37	127	32
	560W/4Ω	0.4	31	31	106	27
	560W/8Ω	0.4	36	36	124	31
	100V	0.5	48	48	165	41
	70V	0.5	48	48	165	41
1/8 output power	280W/4Ω	1.9	218	78	268	67
	280W/8Ω	1.8	203	64	218	55
	560W/4Ω	1.9	214	75	256	64
	560W/8Ω	1.9	211	71	244	61
	100V	1.6	190	65	223	56
	70V	1.7	196	71	244	61
1/3 output power	280W/4Ω	4.3	499	123	422	106
	280W/8Ω	4.1	470	97	332	84
	560W/4Ω	4.2	485	113	386	97
	560W/8Ω	4.3	505	131	449	113
	100V	3.6	416	83	284	71
	70V	3.8	445	112	383	96

Power Specifications (PINK NOISE, 230V/50Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	280W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	280W/8Ω					
	560W/4Ω					
	560W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	280W/4Ω	0.4	37	37	127	32
	280W/8Ω	0.4	37	37	127	32
	560W/4Ω	0.4	31	31	106	27
	560W/8Ω	0.4	36	36	124	31
	100V	0.4	47	47	161	41
	70V	0.4	47	47	161	41
1/8 output power	280W/4Ω	1.05	212	72	247	62
	280W/8Ω	1.05	208	69	235	59
	560W/4Ω	1.04	207	68	232	58
	560W/8Ω	1.04	210	70	240	60
	100V	0.94	188	63	216	54
	70V	0.94	195	70	240	60
1/3 output power	280W/4Ω	2.2	476	100	343	86
	280W/8Ω	2.1	450	77	263	66
	560W/4Ω	2.2	463	91	311	78
	560W/8Ω	2.3	479	105	360	91
	100V	1.9	400	67	229	58
	70V	2.0	429	96	328	83

1/8 power is typical of program material with occasional clipping. Refer to these figures for most applications.

1/3 power represents program material with extremely heavy clipping.

Test signal: Pink Noise, bandwidth limited from 22Hz to 22kHz

All channels driven

1W = 0.860kcal/h, 1BTU = 0.252kcal

Note that Line Voltage [V] x Line Current [A] = [VA], not equals to [W].

● XMV4140/XMV4140-D

Power Specifications (PINK NOISE, 100V/50Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	140W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	140W/8Ω					
	280W/4Ω					
	280W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	140W/4Ω	0.5	37	37	127	32
	140W/8Ω	0.5	37	37	127	32
	280W/4Ω	0.4	31	31	106	27
	280W/8Ω	0.5	36	36	124	31
	100V	0.6	48	48	165	41
	70V	0.6	48	48	165	41
1/8 output power	140W/4Ω	1.4	130	60	206	52
	140W/8Ω	1.3	125	55	189	48
	280W/4Ω	1.3	123	53	182	46
	280W/8Ω	1.4	130	60	206	52
	100V	1.3	120	58	197	50
	70V	1.3	120	58	197	50
1/3 output power	140W/4Ω	2.6	250	63	217	55
	140W/8Ω	2.5	240	53	183	46
	280W/4Ω	2.5	241	54	187	47
	280W/8Ω	2.6	250	63	217	55
	100V	2.3	220	54	184	46
	70V	2.3	221	55	187	47

Power Specifications (PINK NOISE, 120V/60Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	140W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	140W/8Ω					
	280W/4Ω					
	280W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	140W/4Ω	0.4	37	37	127	32
	140W/8Ω	0.4	37	37	127	32
	280W/4Ω	0.3	31	31	106	27
	280W/8Ω	0.4	36	36	124	31
	100V	0.5	48	48	165	41
	70V	0.5	48	48	165	41
1/8 output power	140W/4Ω	1.2	130	60	206	52
	140W/8Ω	1.1	125	55	189	48
	280W/4Ω	1.1	123	53	182	46
	280W/8Ω	1.2	130	60	206	52
	100V	1.0	120	58	197	50
	70V	1.1	120	58	197	50
1/3 output power	140W/4Ω	2.2	250	63	217	55
	140W/8Ω	2.1	240	53	183	46
	280W/4Ω	2.1	241	54	187	47
	280W/8Ω	2.2	250	63	217	55
	100V	1.9	220	54	184	46
	70V	1.9	221	55	187	47

Power Specifications (PINK NOISE, 230V/50Hz mains)

	MODE	Line Current (A)	Power Consumption (W)	Watts Dissipated (W)	Heat Dissipation	
					Btu/h	kcal/h
standby	140W/4Ω	0.3	15	15	51	13
	140W/8Ω					
	280W/4Ω					
	280W/8Ω					
	100V					
	70V					
idle	140W/4Ω	0.4	37	37	127	32
	140W/8Ω	0.4	37	37	127	32
	280W/4Ω	0.4	31	31	106	27
	280W/8Ω	0.4	36	36	124	31
	100V	0.4	47	47	161	41
	70V	0.4	47	47	161	41
1/8 output power	140W/4Ω	0.73	128	58	199	50
	140W/8Ω	0.73	127	57	196	49
	280W/4Ω	0.70	122	52	178	45
	280W/8Ω	0.73	128	58	199	50
	100V	0.68	117	55	188	47
	70V	0.68	117	55	188	47
1/3 output power	140W/4Ω	1.2	242	55	190	48
	140W/8Ω	1.1	233	46	159	40
	280W/4Ω	1.1	234	47	163	41
	280W/8Ω	1.2	243	56	193	49
	100V	1.1	213	47	160	40
	70V	1.1	215	49	167	42

1/8 power is typical of program material with occasional clipping. Refer to these figures for most applications.

1/3 power represents program material with extremely heavy clipping.

Test signal: Pink Noise, bandwidth limited from 22Hz to 22kHz

All channels driven

1W = 0.860kcal/h, 1BTU = 0.252kcal

Note that Line Voltage [V] x Line Current [A] = [VA], not equals to [W].

Information for users on collection and disposal of old equipment:



This symbol on the products, packaging, and/or accompanying documents means that used electrical and electronic products should not be mixed with general household waste.

For proper treatment, recovery and recycling of old products, please take them to applicable collection points, in accordance with your national legislation.

By disposing of these products correctly, you will help to save valuable resources and prevent any potential negative effects on human health and the environment which could otherwise arise from inappropriate waste handling.

For more information about collection and recycling of old products, please contact your local municipality, your waste disposal service or the point of sale where you purchased the items.

For business users in the European Union:

If you wish to discard electrical and electronic equipment, please contact your dealer or supplier for further information.

Information on Disposal in other Countries outside the European Union:

This symbol is only valid in the European Union. If you wish to discard these items, please contact your local authorities or dealer and ask for the correct method of disposal.

(weee_eu_en_02)

Verbraucherinformation zur Sammlung und Entsorgung alter Elektrogeräte



Befindet sich dieses Symbol auf den Produkten, der Verpackung und/oder beiliegenden Unterlagen, so sollten benutzte elektrische Geräte nicht mit dem normalen Haushaltsabfall entsorgt werden.

In Übereinstimmung mit Ihren nationalen Bestimmungen bringen Sie alte Geräte bitte zur fachgerechten Entsorgung, Wiederaufbereitung und Wiederverwendung zu den entsprechenden Sammelstellen.

Durch die fachgerechte Entsorgung der Elektrogeräte helfen Sie, wertvolle Ressourcen zu schützen, und verhindern mögliche negative Auswirkungen auf die menschliche Gesundheit und die Umwelt, die andernfalls durch unsachgerechte Müllentsorgung auftreten könnten.

Für weitere Informationen zum Sammeln und Wiederaufbereiten alter Elektrogeräte kontaktieren Sie bitte Ihre örtliche Stadt- oder Gemeindeverwaltung, Ihren Abfallentsorgungsdienst oder die Verkaufsstelle der Artikel.

Information für geschäftliche Anwender in der Europäischen Union:

Wenn Sie Elektrogeräte ausrangieren möchten, kontaktieren Sie bitte Ihren Händler oder Zulieferer für weitere Informationen.

Entsorgungsinformation für Länder außerhalb der Europäischen Union:

Dieses Symbol gilt nur innerhalb der Europäischen Union. Wenn Sie solche Artikel ausrangieren möchten, kontaktieren Sie bitte Ihre örtlichen Behörden oder Ihren Händler und fragen Sie nach der sachgerechten Entsorgungsmethode.

(weee_eu_de_02)

Informations concernant la collecte et le traitement des déchets d'équipements électriques et électroniques



Le symbole sur les produits, l'emballage et/ou les documents joints signifie que les produits électriques ou électroniques usagés ne doivent pas être mélangés avec les déchets domestiques habituels.

Pour un traitement, une récupération et un recyclage appropriés des déchets d'équipements électriques et électroniques, veuillez les déposer aux points de collecte prévus à cet effet, conformément à la réglementation nationale.

En vous débarrassant correctement des déchets d'équipements électriques et électroniques, vous contribuerez à la sauvegarde de précieuses ressources et à la prévention de potentiels effets négatifs sur la santé humaine qui pourraient advenir lors d'un traitement inapproprié des déchets.

Pour plus d'informations à propos de la collecte et du recyclage des déchets d'équipements électriques et électroniques, veuillez contacter votre municipalité, votre service de traitement des déchets ou le point de vente où vous avez acheté les produits.

Pour les professionnels dans l'Union européenne :

Si vous souhaitez vous débarrasser des déchets d'équipements électriques et électroniques, veuillez contacter votre vendeur ou fournisseur pour plus d'informations.

Informations sur la mise au rebut dans d'autres pays en dehors de l'Union européenne :

Ce symbole est seulement valable dans l'Union européenne. Si vous souhaitez vous débarrasser de déchets d'équipements électriques et électroniques, veuillez contacter les autorités locales ou votre fournisseur et demander la méthode de traitement appropriée.

(weee_eu_fr_02)



Información para usuarios sobre la recogida y eliminación de los equipos antiguos

Este símbolo en los productos, embalajes y documentos anexos significa que los productos eléctricos y electrónicos no deben mezclarse con los desperdicios domésticos normales.

Para el tratamiento, recuperación y reciclaje apropiados de los productos antiguos, llévelos a puntos de reciclaje correspondientes, de acuerdo con la legislación nacional.

Al deshacerse de estos productos de forma correcta, ayudará a ahorrar recursos valiosos y a impedir los posibles efectos desfavorables en la salud humana y en el entorno que de otro modo se producirían si se trataran los desperdicios de modo inapropiado.

Para obtener más información acerca de la recogida y el reciclaje de los productos antiguos, póngase en contacto con las autoridades locales, con el servicio de eliminación de basuras o con el punto de venta donde adquirió los artículos.

Para los usuarios empresariales de la Unión Europea:

Si desea desechar equipos eléctricos y electrónicos, póngase en contacto con su vendedor o proveedor para obtener más información.

Información sobre la eliminación en otros países fuera de la Unión Europea:

Este símbolo solo es válido en la Unión Europea. Si desea desechar estos artículos, póngase en contacto con las autoridades locales o con el vendedor y pregúnteles el método correcto.

(weee_eu_es_02)



Informazioni per gli utenti sulla raccolta e lo smaltimento di vecchia attrezzatura

Questi simboli sui prodotti, sull'imballaggio e/o sui documenti che li accompagnano, indicano che i prodotti elettrici ed elettronici non devono essere mischiati con i rifiuti generici.

Per il trattamento, il recupero e il riciclaggio appropriato di vecchi prodotti, si prega di portarli ai punti di raccolta designati, in accordo con la legislazione locale.

Smaltendo correttamente questi prodotti si potranno recuperare risorse preziose, oltre a prevenire potenziali effetti negativi sulla salute e l'ambiente che potrebbero sorgere a causa del trattamento improprio dei rifiuti.

Per ulteriori informazioni sulla raccolta e il riciclaggio di vecchi prodotti, si prega di contattare l'amministrazione comunale locale, il servizio di smaltimento dei rifiuti o il punto vendita dove sono stati acquistati gli articoli.

Per utenti imprenditori dell'Unione europea:

Se si desidera scartare attrezzatura elettrica ed elettronica, si prega di contattare il proprio rivenditore o il proprio fornitore per ulteriori informazioni.

Informazioni sullo smaltimento negli altri Paesi al di fuori dell'Unione europea:

Questi simboli sono validi solamente nell'Unione Europea; se si desidera scartare questi articoli, si prega di contattare le autorità locali o il rivenditore e richiedere informazioni sulla corretta modalità di smaltimento.

(weee_eu_it_02)

NEDERLAND / THE NETHERLANDS

- Dit apparaat bevat een lithium batterij voor geheugen back-up.
- This apparatus contains a lithium battery for memory back-up.
- Raadpleeg uw leverancier over de verwijdering van de batterij op het moment dat u het apparaat aan het einde van de levensduur of gelieve dan contact op te nemen met de vertegenwoordiging van Yamaha in uw land.
- For the removal of the battery at the moment of the disposal at the end of life please consult your retailer or Yamaha representative office in your country.
- Gooi de batterij niet weg, maar lever hem in als KCA.
- Do not throw away the battery. Instead, hand it in as small chemical waste.

(lithium disposal)

Important Notice: Guarantee Information for customers in European Economic Area (EEA) and Switzerland

Important Notice: Guarantee Information for customers in EEA* and Switzerland	English
For detailed guarantee information about this Yamaha product, and Pan-EEA* and Switzerland warranty service, please either visit the website address below (Printable file is available at our website) or contact the Yamaha representative office for your country. * EEA: European Economic Area	
Wichtiger Hinweis: Garantie-Information für Kunden in der EWR* und der Schweiz	Deutsch
Für nähere Garantie-Information über dieses Produkt von Yamaha, sowie über den Pan-EWR*- und Schweizer Garantieservice, besuchen Sie bitte entweder die folgend angegebene Internetadresse (eine druckfähige Version befindet sich auch auf unserer Webseite), oder wenden Sie sich an den für Ihr Land zuständigen Yamaha-Vertrieb. *EWR: Europäischer Wirtschaftsraum	
Remarque importante: informations de garantie pour les clients de l'EEE et la Suisse	Français
Pour des informations plus détaillées sur la garantie de ce produit Yamaha et sur le service de garantie applicable dans l'ensemble de l'EEE ainsi qu'en Suisse, consultez notre site Web à l'adresse ci-dessous (le fichier imprimable est disponible sur notre site Web) ou contactez directement Yamaha dans votre pays de résidence. * EEE : Espace Economique Européen	
Belangrijke mededeling: Garantie-informatie voor klanten in de EER* en Zwitserland	Nederlands
Voor gedetailleerde garantie-informatie over dit Yamaha-product en de garantieservice in heel de EER* en Zwitserland, gaat u naar de onderstaande website (u vindt een afdrukbaar bestand op onze website) of neemt u contact op met de vertegenwoordiging van Yamaha in uw land. * EER: Europese Economische Ruimte	
Aviso importante: información sobre la garantía para los clientes del EEE* y Suiza	Español
Para una información detallada sobre este producto Yamaha y sobre el soporte de garantía en la zona EEE* y Suiza, visite la dirección web que se incluye más abajo (la version del archivo para imprimir esta disponible en nuestro sitio web) o póngase en contacto con el representante de Yamaha en su país. * EEE: Espacio Económico Europeo	
Avviso importante: informazioni sulla garanzia per i clienti residenti nell'EEA* e in Svizzera	Italiano
Per informazioni dettagliate sulla garanzia relativa a questo prodotto Yamaha e l'assistenza in garanzia nei paesi EEA* e in Svizzera, potete consultare il sito Web all'indirizzo riportato di seguito (è disponibile il file in formato stampabile) oppure contattare l'ufficio di rappresentanza locale della Yamaha. * EEA: Area Economica Europea	
Aviso importante: informações sobre as garantias para clientes da AEE* e da Suíça	Português
Para obter uma informação pormenorizada sobre este produto da Yamaha e sobre o serviço de garantia na AEE* e na Suíça, visite o site a seguir (o arquivo para impressão está disponível no nosso site) ou entre em contato com o escritório de representação da Yamaha no seu país. * AEE: Área Econômica Européia	
Σημαντική σημείωση: Πληροφορίες εγγύησης για τους πελάτες στον ΕΟΧ* και Ελβετία	Ελληνικά
Για λεπτομερείς πληροφορίες εγγύησης σχετικά με το παρόν προϊόν της Yamaha και την κάλυψη εγγύησης σε όλες τις χώρες του ΕΟΧ και την Ελβετία, επισκεφτείτε την παρακάτω ιστοσελίδα (Εκτυπώσιμη μορφή είναι διαθέσιμη στην ιστοσελίδα μας) ή απευθυνθείτε στην αντιπροσωπεία της Yamaha στη χώρα σας. * ΕΟΧ: Ευρωπαϊκός Οικονομικός Χώρος	
Viktigt: Garantiinformation för kunder i EES-området* och Schweiz	Svenska
För detaljerad information om denna Yamahaprodukt samt garantiservice i hela EES-området* och Schweiz kan du antingen besöka nedanstående webbadress (en utskriftsvänlig fil finns på webbplatsen) eller kontakta Yamahas officiella representant i ditt land. * EES: Europeiska Ekonomiska Samarbetsområdet	
Viktig merknad: Garantiinformasjon for kunder i EØS* og Sveits	Norsk
Detaljert garantiinformasjon om dette Yamaha-produktet og garantiservice for hele EØS-området* og Sveits kan fås enten ved å besøke nettstedene nedenfor (utskriftsversjon finnes på våre nettsider) eller kontakte Yamahas kontoret i landet der du bor. *EØS: Det europeiske økonomiske samarbeidsområdet	
Vigtig oplysning: Garantioplysninger til kunder i EØO* og Schweiz	Dansk
De kan finde detaljerede garantioplysninger om dette Yamaha-produkt og den fælles garantiserviceordning for EØO* (og Schweiz) ved at besøge det websted, der er angivet nedenfor (der findes en fil, som kan udskrives, på vores websted), eller ved at kontakte Yamahas nationale repræsentationskontor i det land, hvor De bor. * EØO: Det Europæiske Økonomiske Område	
Tärkeä ilmoitus: Takuutiedot Euroopan talousalueen (ETA)* ja Sveitsin asiakkaille	Suomi
Tämän Yamaha-tuotteen sekä ETA-alueen ja Sveitsin takuuta koskevat yksityiskohtaiset tiedot saatte alla olevasta nettiosoitteesta. (Tulostettava tiedosto saatavissa sivustollamme.) Voitte myös ottaa yhteyttä paikalliseen Yamaha-edustajaan. *ETA: Euroopan talousalue	
Ważne: Warunki gwarancyjne obowiązujące w EOG* i Szwajcarii	Polski
Aby dowiedzieć się więcej na temat warunków gwarancyjnych tego produktu firmy Yamaha i serwisu gwarancyjnego w całym EOG* i Szwajcarii, należy odwiedzić wskazaną poniżej stronę internetową (Plik gotowy do wydruku znajduje się na naszej stronie internetowej) lub skontaktować się z przedstawicielstwem firmy Yamaha w swoim kraju. * EOG — Europejski Obszar Gospodarczy	
Důležité oznámení: Záruční informace pro zákazníky v EHS* a ve Švýcarsku	Česky
Podrobné záruční informace o tomto produktu Yamaha a záručním servisu v celém EHS* a ve Švýcarsku naleznete na níže uvedené webové adrese (soubor k tisku je dostupný na našich webových stránkách) nebo se můžete obrátit na zastoupení firmy Yamaha ve své zemi. * EHS: Evropský hospodářský prostor	
Fontos figyelemztetés: Garancia-információk az EGT* területén és Svájcban élő vásárlók számára	Magyar
A jelen Yamaha termékre vonatkozó részletes garancia-információk, valamint az EGT*-re és Svájcra kiterjedő garanciális szolgáltatás tekintetében keresse fel webhelyünket az alábbi címen (a webhelyen nyomtatható fájl is talál), vagy pedig lépjen kapcsolatba az országában működő Yamaha képviselői irodával. * EGT: Európai Gazdasági Térség	
Oluline märkus: Garantiiteave Euroopa Majanduspiirkonna (EMP)* ja Šveitsi klientidele	Eesti keel
Täpsemat teabete saamiseks selle Yamaha toote garantii ning kogu Euroopa Majanduspiirkonna ja Šveitsi garantiiteeninduse kohta, külastage palun veebisaiti alljärgneval aadressil (meie saidil on saadaval prinditav fail) või pöörduge Teie regiooni Yamaha esinduse poole. * EMP: Euroopa Majanduspiirkond	
Svarīgs paziņojums: garantijas informācija klientiem EEZ* un Šveicē	Latviešu
Lai saņemtu detalizētu garantijas informāciju par šo Yamaha produktu, kā arī garantijas apkalpošanu EEZ* un Šveicē, lūdzu, apmeklējiet zemāk norādīto tīmekļa vietnes adresi (tīmekļa vietnē ir pieejams drukājams fails) vai sazinieties ar jūsu valstī apkalpojošo Yamaha pārstāvniecību. * EEZ: Eiropas Ekonomikas zona	
Dėmesio: informacija dėl garantijos pirkėjams EEE* ir Šveicarijoje	Lietuvių kalba
Jei reikia išsamios informacijos apie šį „Yamaha“ produktą ir jo techninę priežiūrą visoje EEE* ir Šveicarijoje, apsilankykite mūsų svetainėje toliau nurodytu adresu (svetainėje yra spausdintinas failas) arba kreipkitės į „Yamaha“ atstovybę savo šaliai. *EEE – Europos ekonominė erdvė	
Dôležité upozornenie: Informácie o záruke pre zákazníkov v EHP* a Švajčiarsku	Slovenčina
Podrobné informácie o záruke týkajúce sa tohto produktu od spoločnosti Yamaha a garančnom servise v EHP* a Švajčiarsku nájdete na webovej stránke uvedenej nižšie (na našej webovej stránke je k dispozícii súbor na tlač) alebo sa obráťte na zástupcu spoločnosti Yamaha vo svojej krajine. * EHP: Európsky hospodársky priestor	
Pomembno obvestilo: Informacije o garanciji za kupce v EGP* in Švici	Slovenščina
Za podrobnejše informacije o tem Yamahinem izdelku ter garancijskem servisu v celotnem EGP in Švici, obiščite spletno mesto, ki je navedeno spodaj (natisljiva datoteka je na voljo na našem spletnem mestu), ali se obrnite na Yamahinega predstavnika v svoji državi. * EGP: Evropski gospodarski prostor	
Важно съобщение: Информация за гаранцията за клиенти в ЕИП* и Швейцария	Български език
За подробна информация за гаранцията за този продукт на Yamaha и гаранционното обслужване в паневропейската зона на ЕИП* и Швейцария или посетете посочения по-долу уеб сайт (на нашия уеб сайт има файл за печат), или се свържете с представителния офис на Yamaha във вашата страна. * ЕИП: Европейско икономическо пространство	
Notificare importantă: Informații despre garanție pentru clienții din SEE* și Elveția	Limba română
Pentru informații detaliate privind acest produs Yamaha și serviciul de garanție Pan-SEE* și Elveția, vizitați site-ul la adresa de mai jos (fișierul imprimabil este disponibil pe site-ul nostru) sau contactați biroul reprezentanței Yamaha din țara dumneavoastră. * SEE: Spațiul Economic European	

ADDRESS LIST

NORTH AMERICA

CANADA

Yamaha Canada Music Ltd.
135 Milner Avenue, Toronto, Ontario,
M1S 3R1, Canada
Tel: +1-416-298-1311

U.S.A.

Yamaha Corporation of America
6600 Orangethorpe Avenue, Buena Park, CA 90620,
U.S.A.
Tel: +1-714-522-9011

CENTRAL & SOUTH AMERICA

MEXICO

Yamaha de México, S.A. de C.V.
Av. Insurgentes Sur 1647 Piso 9, Col. San José
Insurgentes, Delegación Benito Juárez, México,
D.F., C.P. 03900, México
Tel: +52-55-5804-0600

BRAZIL

Yamaha Musical do Brasil Ltda.
Rua Fidêncio Ramos, 302 – Cj 52 e 54 – Torre B – Vila
Olimpia – CEP 04551-010 – São Paulo/SP, Brazil
Tel: +55-11-3704-1377

ARGENTINA

**Yamaha Music Latin America, S.A.,
Sucursal Argentina**
Olga Cossetini 1553, Piso 4 Norte,
Madero Este-C1107CEK,
Buenos Aires, Argentina
Tel: +54-11-4119-7000

PANAMA AND OTHER LATIN AMERICAN COUNTRIES/ CARIBBEAN COUNTRIES

Yamaha Music Latin America, S.A.
Edif. Torre Banco General, Piso 7, Urbanización
Marbella, Calle 47 y Aquilino de la Guardia,
Ciudad de Panamá, República de Panamá
Tel: +507-269-5311

EUROPE

THE UNITED KINGDOM/IRELAND

Yamaha Music Europe GmbH (UK)
Sherbourne Drive, Tilbrook, Milton Keynes,
MK7 8BL, U.K.
Tel: +44-1908-366700

GERMANY

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstrasse 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: +49-4101-303-0

SWITZERLAND/LIECHTENSTEIN

**Yamaha Music Europe GmbH, Branch
Switzerland in Thalwil**
Seestrasse 18a, 8800 Thalwil, Switzerland
Tel: +41-44-3878080

AUSTRIA/BULGARIA/ CZECH REPUBLIC/HUNGARY/ ROMANIA/SLOVAKIA/SLOVENIA

**Yamaha Music Europe GmbH
Branch Austria**
Schleiergasse 20, 1100 Wien, Austria
Tel: +43-1-60203900

POLAND

**Yamaha Music Europe GmbH
Sp.z o.o. Oddział w Polsce**
ul. Wielicka 52, 02-657 Warszawa, Poland
Tel: +48-22-880-08-88

MALTA

Olimpus Music Ltd.
Valletta Road, Mosta MST9010, Malta
Tel: +356-2133-2093

NETHERLANDS/BELGIUM/ LUXEMBOURG

Yamaha Music Europe Branch Benelux
Clarissenhof 5b, 4133 AB Vianen, The Netherlands
Tel: +31-347-358040

FRANCE

Yamaha Music Europe
7 rue Ambroise Croizat, Zone d'activités de Pariest,
77183 Croissy-Beaubourg, France
Tel: +33-1-6461-4000

ITALY

Yamaha Music Europe GmbH, Branch Italy
Via Tinelli N.67/69 20855 Gerno di Lesmo (MB),
Italy
Tel: +39-039-9065-1

SPAIN/PORTUGAL

**Yamaha Music Europe GmbH Ibérica, Sucursal
en España**
Ctra. de la Coruña km. 17,200, 28231
Las Rozas de Madrid, Spain
Tel: +34-91-639-88-88

GREECE

Philippos Nakas S.A. The Music House
19th km. Leof. Lavriou 190 02 Peania – Attiki,
Greece
Tel: +30-210-6686168

SWEDEN/FINLAND/ICELAND

**Yamaha Music Europe GmbH Germany filial
Scandinavia**
JA Wettergrensgata 1, 400 43 Göteborg, Sweden
Tel: +46-31-89-34-00

DENMARK

**Yamaha Music Denmark,
Fillial of Yamaha Music Europe GmbH, Tyskland**
Generatorvej 8C, ST. TH. , 2860 Søborg, Denmark
Tel: +45-44-92-49-00

NORWAY

**Yamaha Music Europe GmbH Germany -
Norwegian Branch**
Grini Næringspark 1, 1332 Østerås, Norway
Tel: +47-6716-7800

CYPRUS

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstrasse 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: +49-4101-303-0

RUSSIA

Yamaha Music (Russia) LLC.
Room 37, entrance 7, bld. 7, Kievskaya street,
Moscow, 121059, Russia
Tel: +7-495-626-5005

OTHER EUROPEAN COUNTRIES

Yamaha Music Europe GmbH
Siemensstrasse 22-34, 25462 Rellingen, Germany
Tel: +49-4101-3030

AFRICA

Yamaha Music Gulf FZE
JAFZA-16, Office 512, P.O.Box 17328,
Jebel Ali FZE, Dubai, UAE
Tel: +971-4-801-1500

MIDDLE EAST

TURKEY

**Yamaha Music Europe GmbH
Merkezi Almanya Türkiye İstanbul Şubesi**
Maslak Meydanı Sokak, Spring Giz Plaza Bagimsiz
Böl. No:3, Sarıyer İstanbul, Turkey
Tel: +90-212-999-8010

OTHER COUNTRIES

Yamaha Music Gulf FZE
JAFZA-16, Office 512, P.O.Box 17328,
Jebel Ali FZE, Dubai, UAE
Tel: +971-4-801-1500

ASIA

THE PEOPLE'S REPUBLIC OF CHINA

Yamaha Music & Electronics (China) Co.,Ltd.
2F, Yunhedasha, 1818 Xinzha-lu, Jingan-qu,
Shanghai, China
Tel: +86-400-051-7700

INDIA

Yamaha Music India Private Limited
P-401, JMD Megapolis, Sector-48, Sohna Road,
Gurgaon-122018, Haryana, India
Tel: +91-124-485-3300

INDONESIA

PT. Yamaha Musik Indonesia (Distributor)
Yamaha Music Center Bldg. Jalan Jend. Gatot
Subroto Kav. 4, Jakarta 12930, Indonesia
Tel: +62-21-520-2577

KOREA

Yamaha Music Korea Ltd.
8F, Dongsung Bldg. 21, Teheran-ro 87-gil,
Gangnam-gu, Seoul, 06169, Korea
Tel: +82-2-3467-3300

MALAYSIA

Yamaha Music (Malaysia) Sdn. Bhd.
No.8, Jalan Perbandaran, Kelana Jaya, 47301
Petaling Jaya, Selangor, Malaysia
Tel: +60-3-78030900

SINGAPORE

Yamaha Music (Asia) Private Limited
Block 202 Hougang Street 21, #02-00,
Singapore 530202, Singapore
Tel: +65-6740-9200

TAIWAN

Yamaha Music & Electronics Taiwan Co.,Ltd.
2F, No.1, Yuandong Rd., Banqiao Dist.,
New Taipei City 22063, Taiwan (R.O.C.)
Tel: +886-2-7741-8888

THAILAND

Siam Music Yamaha Co., Ltd.
3, 4, 15, 16th Fl., Siam Motors Building,
891/1 Rama 1 Road, Wangmai,
Pathumwan, Bangkok 10330, Thailand
Tel: +66-2215-2622

VIETNAM

Yamaha Music Vietnam Company Limited
15th Floor, Nam A Bank Tower, 201-203 Cach
Mang Thang Tam St., Ward 4, Dist.3,
Ho Chi Minh City, Vietnam
Tel: +84-8-3818-1122

OTHER ASIAN COUNTRIES

<http://asia.yamaha.com/>

OCEANIA

AUSTRALIA

Yamaha Music Australia Pty. Ltd.
Level 1, 80 Market Street, South Melbourne,
VIC 3205, Australia
Tel: +61-3-9693-5111

COUNTRIES AND TRUST

TERRITORIES IN PACIFIC OCEAN

<http://asia.yamaha.com/>

雅马哈乐器音响（中国）投资有限公司
上海市静安区新闻路1818号云和大厦2楼
客户服务热线：4000517700
公司网址：<http://www.yamaha.com.cn>

厂名：雅马哈电子（苏州）有限公司
厂址：江苏省苏州市苏州新区鹿山路18号

Yamaha Pro Audio global website
<http://www.yamaha.com/proaudio/>

Yamaha Downloads
<http://download.yamaha.com/>

Manual Development Group
© 2013 Yamaha Corporation

Published 12/2017 改版 POES-F0

ZZ42580